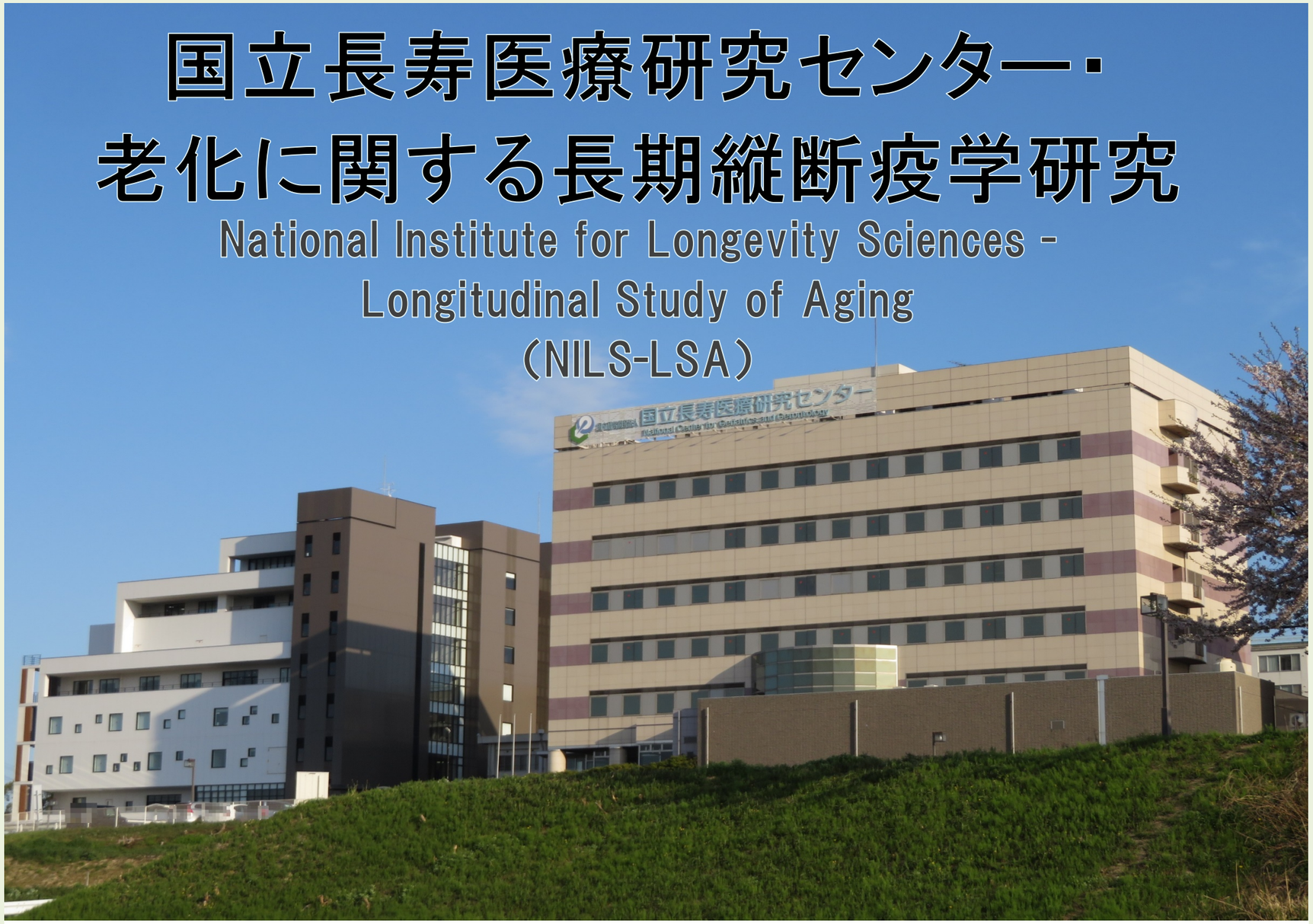
国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

国立長寿医療研究センター・
老化に関する長期縦断疫学研究

National Institute for Longevity Sciences - Longitudinal Study of Aging (NILS-LSA)



NILS-LSAデータカタログ

Contents
目　次

データカタログ参照にあたっての注意事項 P. 1
背景因子調査 P. 2
服用薬物調査 P. 10
食物・栄養調査 P. 15
骨密度検査 P. 19
血液検査 P. 20
尿検査 P. 23
心理調査 P. 24
聴覚検査 P. 29
視覚検査 P. 30
生理機能検査 P. 32
運動機能・身体活動量検査 P. 34
身体計測・身体組成検査 P. 37
頭部MRI検査 P. 39
口腔検査 P. 40
遺伝子検査 P. 41

データカタログ参照にあたっての注意事項

1. NILS-LSAの目的や対象者などの調査概要は、下のリンクから【老化疫学研究部HP】をご覧ください。
https://www.ncgg.go.jp/ri/lab/cgss/department/ep/index.html >>
2. 調査項目の性・年代別の記述統計量は、【老化疫学研究部H】→【公表データ】→【モノグラフ】をご参照ください。
3. データカタログでは、各調査を以下のように表記しました。

調査	データカタログ表記名	調査時期
第1次調査	1st wave	1997.11-2000.4
第2次調査	2nd wave	2000.4-2002.5
第3次調査	3rd wave	2002.5-2004.5
第4次調査	4th wave	2004.6-2006.7
第5次調査	5th wave	2006.7-2008-7
第6次調査	6th wave	2008.7-2010.7
第7次調査	7th wave	2010.7-2012.7

4. データの有無は、〇（若干の欠損はあるが概ねデータあり）、△（データに大幅な欠損あり）、×（データなし）で示しました。
5. データは、対象者の一部（男性のみ，60歳以上のみ，有職者のみ，など）に施行した項目を含みます。
6. 調査項目は、調査時期によって回答方式、測定方法が異なる場合があります．詳細は、備考欄および欄外の注を参照してください。
7. 収入や就労状況などの人口統計学的変数は、「背景因子調査」及び「心理調査」を参照してください。
8. 調査項目は、調査時期により本カタログの複数の検査のページ（目次の15分類）に重複して掲載している場合があります。

※例えば、教育歴は「背景因子調査」（P.9）の「9. 人口統計学的変数」及び「心理調査」（P.26）の「12）個人背景要因」に掲載しています．
その場合、参照先は下記のように省略していますので、ご確認ください．

- 背景因子調査：（背）
- 食物・栄養調査：（食）
- 心理調査：（心）
- 運動機能・身体活動量検査：（運）
- 身体計測・身体組成検査：（身）

背景因子調査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 病歴								
1) 現病歴および既往歴								
脳血管障害・脳卒中（脳梗塞，脳血栓，脳出血）	○	○	○	○	○	○	○	1st-4th：「脳血管障害」の表記なし.
高血圧	○	○	○	○	○	○	○	
狭心症・心筋梗塞	○	○	○	○	○	○	○	
その他の心臓病（不整脈，弁膜症，心不全など）		○	○	○	○	○	○	1st：「狭心症・心筋梗塞」と「その他の心臓病」を1設問で質問.
脂質異常症	○	○	○	○	○	○	○	「高脂血症」と表記.
腎臓病	○	○	○	○	○	○	○	
肝臓病	○	○	○	○	○	○	○	
胆石・胆嚢炎	○	○	○	○	○	○	○	
糖尿病	○	○	○	○	○	○	○	
胃・十二指腸潰瘍	○	○	○	○	○	○	○	
結核・肋膜炎	○	○	○	○	○	○	○	
喘息	○	○	○	○	×	○	○	
慢性気管支炎	○	○	○	○	×	○	○	
貧血	○	○	○	○	○	○	○	
骨粗鬆症	○	○	○	○	○	○	○	
関節リウマチ	○	○	○	○	○	○	○	1st-4th：「リウマチ・関節炎」と表記.
変形性膝関節症	×	×	×	×	○	○	○	
痛風・高尿酸血症	○	○	○	○	○	○	○	
甲状腺疾患	×	×	○	○	○	○	○	
副甲状腺疾患	×	×	○	○	○	○	○	
がん	○	○	○	○	○	○	○	
骨折	○	○	○	○	○	○	○	
前立腺肥大	○	○	○	○	○	○	○	
認知症	○	○	○	○	○	○	○	1st-4th：「痴呆」，5th-7th：「認知症(痴呆)」と表記.
パーキンソン病	○	○	○	○	×	×	×	
その他疾患	○	○	○	×	×	×	×	
2) 薬剤治療								
降圧薬服用	×	×	×	○	○	○	○	
経口糖尿病薬服用	×	×	×	○	○	○	○	
インスリン使用	×	×	×	○	○	○	○	
3) 手術歴								
胃手術既往	○	○	○	○	○	○	○	2nd-3rd：「手術を受けた年齢」も質問.
胆嚢手術既往	×	○	○	○	○	○	○	2nd-3rd：「手術を受けた年齢」も質問.
頭部手術既往	○	○	○	○	○	○	○	2nd-3rd：「手術を受けた年齢」も質問.
心臓手術既往	○	○	○	○	○	○	○	2nd-3rd：「手術を受けた年齢」も質問.
肺手術既往	○	○	○	○	○	○	○	2nd-3rd：「手術を受けた年齢」も質問.
甲状腺手術既往	○	○	○	○	○	○	○	2nd-3rd：「手術を受けた年齢」も質問.
その他手術既往	○	×	×	×	×	×	×	
輸血経験	×	○	○	○	×	×	×	
4) 入院歴								
過去2年の入院	○	○	○	○	○	○	○	
5) 骨折歴								
過去2年の大腿骨近位部骨折	×	×	×	○	×	×	×	
過去2年の橈骨遠位端骨折	×	×	×	○	×	×	×	
過去2年の上腕骨近位端骨折	×	×	×	○	×	×	×	
過去2年の脊髄骨折	×	×	×	○	×	×	×	
過去2年のその他の骨折	×	×	×	○	×	×	×	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
6) 家族歴								
高血圧家族歴	○	○	○	○	○	○	○	
糖尿病家族歴	○	○	○	○	○	○	○	
脂質異常症家族歴	○	○	○	○	○	○	○	「高脂血症家族歴」と表記.
狭心症・心筋梗塞家族歴	○	○	○	○	○	○	○	
脳血管障害・脳卒中家族歴	○	○	○	○	○	○	○	
認知症家族歴	○	○	○	○	○	○	○	1st-4th：「痴呆家族歴」, 5th-7th：「認知症(痴呆)家族歴」と表記.
前立腺肥大家族歴	○	○	○	○	○	○	○	
パーキンソン病家族歴	○	○	○	○	×	×	×	
緑内障家族歴	○	×	×	×	×	×	×	
夜盲症家族歴	○	×	×	×	×	×	×	
2. 婦人科系（女性のみ）								
1) 更年期障害								
Kupperman更年期指数	×	×	×	×	×	×	○	**＜出典＞** クッパーマン更年期指数：若槻明彦 .(2009). 更年期障害 (E.婦人科疾患の診断・治療・管理) 日本産婦人科婦人科学会雑誌, 61(7), N-238-N-242 ※本検査の著作権は株式会社三京房に帰属します.
2) 月経								
更年期障害や骨粗鬆症治療のための女性ホルモン剤の使用	×	×	×	○	○	○	○	
初潮年齢	○	×	×	×	○	○	○	
月経の有無	○	○	○	○	○	○	○	
閉経年齢	○	○	○	○	○	○	○	
子宮摘出術既往	○	○	○	○	○	○	○	
子宮摘出年齢	○	○	○	○	○	○	○	
卵巣温存の有無	○	○	○	○	○	○	○	
月経の日数	○	○	×	×	×	×	×	
最近の月経周期	○	○	×	×	×	×	×	
現在月経中	○	○	×	×	×	×	×	
月経以外の出血	○	○	×	×	×	×	×	
最近1年の月経の変化	○	○	×	×	×	×	×	
月経周期の変化	○	○	○	○	○	○	○	1st-2nd：「月経周期の変化」の質問形式が異なる.
以前の月経周期	○	○	×	×	×	×	×	
出血量の変化	○	○	×	×	×	×	×	
3. 日常生活と健康								
1) 健康								
自覚的健康度	○	○	○	○	○	○	○	
めまい・ふらつき・たちくらみ等の症状	×	○	×	×	×	×	×	
定期的な健康診断	○	○	○	○	×	×	×	
かかりつけの主治医	○	○	○	×	×	×	×	
かかりつけの診療科	×	×	○	×	×	×	×	
定期的な歯科検診	×	×	○	×	×	×	×	
2) 睡眠								
平均睡眠時間	○ (運)	○ (運)	○ (運)	(運)	(運)	(運)	(運)	**＜出典＞** 葛谷文男, 下方浩史, 金森雅夫, 遠藤英俊, 安藤富士子.(1996). 生活調査. 葛谷文男, 下方浩史(編). 老化に関する縦断的研究マニュアル. 診断と治療社：36-41. ISBN 4-7878-0780-3 C3047.
睡眠の質	○	○	○	×	×	×	×	
昼寝の回数	○	○	○	×	×	×	×	運動機能・身体活動量検査においては対面聞き取り方式にて睡眠時間を質問.

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
3) 喫煙								
喫煙の有無	○	○	○	○	○	○	○	
禁煙者の喫煙開始年齢	○	○	○	○	○	○	○	
禁煙者の禁煙年齢	○	○	○	○	○	○	○	
禁煙者の過去の喫煙本数	○	○	○	○	○	○	○	
喫煙者の喫煙開始年齢	○	○	○	○	○	○	○	
喫煙者の現在の喫煙本数	○	○	○	○	○	○	○	
禁煙者の禁煙した理由	○	○	○	○	○	○	○	
煙草の煙の吸入	○	○	○	×	×	×	×	
フィルターつきの喫煙	○	○	○	×	×	×	×	
自宅での受動喫煙の有無	○	○	○	×	×	×	×	1st：「受動喫煙の時間」も質問.
学齢期に自宅での受動喫煙の有無	○	×	×	×	×	×	×	1st：「受動喫煙の時間」も質問.
自宅以外での受動喫煙の有無	○	○	○	×	×	×	×	1st：「受動喫煙の時間」も質問.
4) 外出								
外出する頻度	×	×	○	○	○	○	○	
主な外出目的	×	×	○	○	○	○	○	
あまり外出しない理由	×	×	○	○	○	○	○	
友達・近所の人あるいは別居家族や親戚と会って会話する頻度	×	×	○	○	○	○	○	
外出するにあたっての介助が必要	×	×	○	○	○	○	○	
身体が不自由なため，外出して人に見られるのが恥ずかしい	×	×	○	○	○	○	○	
主に生活する部屋の階数	×	×	○	○	○	○	○	
外出に不安を感じることがある	×	×	○	○	○	○	○	
5) 日常生活活動の障害								
激しい活動をする	×	×	×	○	○	○	○	**＜出典＞** 福原俊一，鈴鴨よしみ .(2004). SF-36v2 日本語版マニュアル. NPO 健康医療評価研究機構，京都. ※使用申請済
適度な活動をする	×	×	×	○	○	○	○	
少し重い物を持ち上げたり，運んだりする	×	×	×	○	○	○	○	
階段を数階上までのぼる	×	×	×	○	○	○	○	
階段を1階上までのぼる	×	×	×	○	○	○	○	
体を前に曲げる，ひざまずく，かがむ	×	×	×	○	○	○	○	
1キロメートル以上歩く	×	×	×	○	○	○	○	
数百メートル以上歩く	×	×	×	○	○	○	○	
百メートル以上歩く	×	×	×	○	○	○	○	
自分で入浴したり，着がえたりする	×	×	×	○	○	○	○	
正座をする	×	×	×	×	○	○	○	
日常困難を感じる動作について	×	○	○	×	×	×	×	
6) ロコモティブ・シンドローム								
家のなかでつまずいたり滑ったりする	×	×	×	×	×	×	○	**＜出典＞** 石橋英明 .(2011). ロコモティブシンドローム. ロコチェックの運動機能低下の予見性と，ロコトレの運動機能改善効果. 医学のあゆみ，236，353-359.
15分くらい続けて歩けない	×	×	×	×	×	×	○	
家のやや重い仕事が困難である	×	×	×	×	×	×	○	
横断歩道を青信号で渡りきれない	×	×	×	×	×	×	○	
階段を上がるのに手すりが必要である	×	×	×	×	×	×	○	
2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である	×	×	×	×	×	×	○	
片脚立ちで靴下がはけない	×	×	×	×	×	×	○	
7) 要介護認定								
要介護認定	×	×	×	×	×	○	○	
現在の介護度	×	×	×	×	×	○	○	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
8) 身体の痛み(背中・腰・膝)								
過去1ヶ月に身体のどこかに痛みを感じたことがある	×	×	×	○	×	×	×	
現在，身体のどこかに痛みがある	×	○	×	×	×	×	×	
日常生活に支障をきたす程の背中・腰の痛みを感じたことがある	×	○	○	○	×	×	×	4th：「背中・腰の痛み」について過去2年間の痛みを質問.
痛みのきっかけ	×	○	○	×	×	×	×	
痛みの経過	×	○	○	×	×	×	×	
過去3ヶ月の腰痛の有無	×	×	×	×	×	×	○	
腰痛程度	×	×	×	×	×	×	○	
膝手術既往	×	×	×	×	○	×	×	
2週間以上歩行に障害をきたすような膝外傷の既往	×	×	×	×	○	×	×	
右膝について外傷以外で，痛みを感じたことがある	×	×	×	×	○	×	×	
平地を歩くときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
階段を昇り降りするときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
床についているときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
椅子から立ち上がるときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
正座をするときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
左膝について外傷以外で，痛みを感じたことがある	×	×	×	×	○	×	×	
平地を歩くときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
階段を昇り降りするときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
床についているときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
椅子から立ち上がるときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
正座をするときの痛み	×	×	×	×	○	×	×	
9) 家族の骨折歴								
家族の骨折既往	×	○	○	×	×	×	×	
家族の円背	×	○	○	×	×	×	×	
両親の骨折既往	×	×	×	○	×	×	×	
両親の円背	×	×	×	○	×	×	×	
両親の大腿骨近位部骨折既往	×	×	×	×	×	○	○	
両親の橈骨遠位端骨折既往	×	×	×	×	×	○	○	
両親の上腕骨近位端骨折既往	×	×	×	×	×	○	○	
両親の脊椎骨折既往	×	×	×	×	×	○	○	
10) 身長の変化								
身長低下の自覚	×	○	○	○	×	○	×	
円背の自覚	×	○	○	○	×	○	×	
身長低下と円背が気になる	×	○	○	×	×	×	×	
11) 体重管理								
適正体重を維持することに気をつけている	○	○	×	×	×	×	×	
3ヶ月で4キロ以上のダイエットをしたことがある	○	○	×	×	×	×	×	
最初のダイエットの年齢	○	○	×	×	×	×	×	
最初のダイエットで減った体重	○	○	×	×	×	×	×	
最後のダイエットの年齢	○	○	×	×	×	×	×	
最後のダイエットで減った体重	○	○	×	×	×	×	×	
病気やストレスで3か月以内に4キロ以上減量したことがある	○	○	×	×	×	×	×	
3ヶ月で4キロ以上体重が増加したことがある	○	○	×	×	×	×	×	
体質	○	×	×	×	×	×	×	
18歳時の体重	○	△	△	△	△	△	△	1st：全対象者に質問，2nd-7th：初回参加者のみ質問（対面聞き取り方式）.

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
4. 歯・口腔の健康								
歯肉腫張がある	×	×	○	△	×	×	×	4thデータは900名分程度:4th途中(2005.4)から中止
歯がしみることがある	×	×	○	△	×	×	×	
趣味がある	×	×	○	△	×	×	×	
間食をする	×	×	○	△	×	×	×	
かかりつけの歯科医がいる	×	×	○	△	×	×	×	
早期治療のために歯科医へ行く	×	×	○	△	×	×	×	
歯茎から出血がある	×	×	○	△	×	×	×	
少なくとも1日に2回は歯磨きする	×	×	○	△	×	×	×	
自分の歯ブラシを持っている	×	×	○	△	×	×	×	
5. 視覚								
眼鏡の使用	○	○	○	○	○	○	○	1st：眼鏡とコンタクトの両方について1設問で質問.
コンタクトレンズの使用		○	○	○	○	○	○	
眼鏡の種類	○	○	○	○	○	○	○	
コンタクトレンズの種類	×	○	○	○	○	○	○	
コンタクトレンズの使用歴	×	○	○	○	○	○	×	
屋外での仕事日数	○	×	×	×	×	×	×	
右眼の手術既往	○	○	○	○	○	○	○	
左眼の手術既往	○	○	○	○	○	○	○	
緑内障の既往	○	○	○	○	○	○	○	
白内障の既往	○	○	○	○	○	○	○	
日常生活で見づらいと感じる	○	×	×	×	×	×	×	
目が疲れたと感じることがある	○	×	×	×	×	×	×	
目が乾くと感じることがある	○	×	×	×	×	×	×	
パソコンやワープロを画面を見る	○	×	×	×	×	×	×	
パソコンやワープロの画面を見ていると，頭痛や手のしびれがある	○	×	×	×	×	×	×	
テレビやビデオを見る時間	○	×	×	×	×	×	×	
視力がよくないために生活の範囲が狭くなっていると思う	○	×	×	×	×	×	×	
視力がよくないために自信を失っていると思う	○	×	×	×	×	×	×	
一時的に視力を失ったことがある	○	×	×	×	×	×	×	
ものが二重に見えることがある	○	×	×	×	×	×	×	
ものがゆがんで見えることがある	○	×	×	×	×	×	×	
まぶしく感じることがある	○	×	×	×	×	×	×	
暗いところで見えにくい	○	×	×	×	×	×	×	
最近2年間での視力検査	×	×	×	○	○	○	×	
最近2年間での眼科受診	×	×	×	○	○	○	×	
帽子・日傘の使用	×	○	○	○	○	○	×	
サングラスの使用	×	○	○	○	○	○	×	
視力を含めた見え具合の自己評価	×	○	○	○	○	○	×	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
全身の健康状態	×	×	×	×	×	×	○	＜出典＞
ものの見え方	×	×	×	×	×	×	○	NEI VFQ-25日本語版：Suzukamo, Y., Oshika, T., Yuzawa, M., Tokuda, Y., Tomidokoro, A., Oki, K.,
ものの見え方についての不安	×	×	×	×	×	×	○	Mangione, C.M., Green, J., & Fukuhara, S. (2005). Psychometric properties of the 25-item National
目や目の周りの痛みや不快感	×	×	×	×	×	×	○	Eye Institute Visual Function Questionnaire (NEI VFQ-25), Japanese version. Health and Quality of
新聞記事を読む際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	Life Outcomes, 3, 65. ※使用申請済
物を近くで見る作業の際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	
細かい文字を読む際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	
道路標識や看板を読む際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	
暗所の階段や段差を降りる際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	
歩行中に周囲のものに気づかない頻度	×	×	×	×	×	×	○	
相手の反応みる際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	
着る服を組み合わせる際の困難度	×	×	×	×	×	×	○	
誰かの家の訪問，集まりやレストランに行くことの困難度	×	×	×	×	×	×	○	
テレビ番組を楽しむことの困難度	×	×	×	×	×	×	○	
現在の車の運転有無	×	×	×	×	×	×	○	
今までの運転経験（現在運転をしていない人のみ）	×	×	×	×	×	×	○	
運転をやめた理由（運転をやめた人のみ）	×	×	×	×	×	×	○	
昼間の運転の困難度（運転をしている人のみ）	×	×	×	×	×	×	○	
夜間の運転の困難度（運転をしている人のみ）	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために完遂できない頻度	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために長く続けられない頻度	×	×	×	×	×	×	○	
目の痛みや不快感のために支障を来す頻度	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために，家にいることが多い	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために，欲求不満を感じる	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために，したいことができない	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために，他者の話に頼ることが必要	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために，手助けが必要	×	×	×	×	×	×	○	
ものが見えにくいために，困惑することが心配	×	×	×	×	×	×	○	
6. 聴覚								
補聴器の使用	○	○	○	○	○	○	○	
耳鳴の有無	○	○	○	○	○	○	○	
耳鳴の位置	×	×	○	○	○	○	○	
耳鳴りで必要な音が聞き取りにくい	×	×	○	○	○	○	○	
耳鳴りがすると不快に思う	×	×	○	○	○	○	○	
耳疾患既往	○	○	○	○	○	○	○	
耳疾患既往の種類	○	○	○	○	○	○	○	
耳手術既往	○	○	○	○	○	○	○	
頭を打って病院を受診したことがある	×	×	×	×	○	○	○	
職場での騒音がある	○	○	○	○	○	○	○	
騒音の多い地域に住んでいる	×	○	○	○	○	○	○	
騒音が多い地域に住んでいる年数	×	○	○	○	×	×	×	「現在も騒音地域に住んでいる」人のみ質問.
騒音が多い地域に住み始めた年齢	×	○	○	○	×	×	×	「以前騒音地域に住んでいた」人のみ質問.
騒音が多い地域に住んでいた年数	×	○	○	○	×	×	×	「以前騒音地域に住んでいた」人のみ質問.
騒音の多い場所に出入りする	×	○	○	○	○	○	○	
自分で聞こえが悪いと思う	○	○	○	○	○	○	○	
人から聞こえが悪いと言われたことがある	×	×	○	○	○	○	○	
耳の聞こえが悪いために生活の範囲が狭くなっていると思う	○	○	○	○	○	○	○	
耳の聞こえが悪いために自信を失っていると思うことがある	○	○	○	○	○	○	○	
音は聞こえても言葉が聞き取りにくいと感じることがある	○	○	○	○	○	○	○	
テレビを見ているとき，ニュースの内容が聞き取れる	○	○	○	○	○	○	○	
静かな部屋で4～5人で話をするとき内容が聞き取れる	○	○	○	○	○	○	○	
聴覚検査で異常といわれたことがある	○	○	○	○	×	×	×	
ヘッドホンの使用	○	○	○	○	×	×	×	
イヤホンの使用	○	○	○	○	×	×	×	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
7. 転倒								
日常生活について	○	×	×	×	×	×	×	「転倒に関連する日常生活」について質問.
転倒恐怖感	○	○	○	○	○	○	○	
転ぶことが怖いために日常生活に支障がある	○	○	×	×	×	×	×	
過去1年間の転倒経験	○	○	○	○	○	○	○	
過去1年間の転倒回数	×	○	○	○	○	○	○	
転倒した月	○	○	○	○	○	○	○	
転倒した時刻	○	○	○	○	○	○	○	
転倒した方向	×	×	○	○	○	○	○	
転倒した場所	○	○	○	○	○	○	○	
転倒したときの履物	○	○	○	○	○	○	○	
転倒したときの動作	○	○	○	○	○	○	○	
転倒した最大の原因	○	○	○	○	○	○	○	
転倒による外傷	○	○	○	○	○	○	○	
8. 排尿								
1) 排尿症状								
排尿回数	×	○	×	×	×	×	×	
夜間の排尿回数	×	○	×	×	×	×	×	
排尿後にまだ残っている感じがある	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	**＜出典＞** 国際前立腺症状スコア：International Prostate Symptom Score (IPSS)： Cockett, ATK. Khoury, S., Aso, Y., Chatelain, C., Griffiths, K., Murphy, G., eds. (1993). Proceedings of the Second International Consultation on Benign Prostatic Hyperplasia. Jersey: Scientific Communication Internationa.
排尿後2時間以内にもう一度行かねばならないことがある	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
排尿途中に尿が切れることがある	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
排尿をがまんするのがつらいことがある	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
尿の勢いが弱いことがある	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
排尿開始時にいきむ必要がある	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
床についてから朝起きるまでの排尿回数	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
排尿状態の自己評価	○ 男性のみ	○ 男性のみ	○	○	○	○	○	
2) 尿失禁								
尿漏れ経験	○ 女性のみ	○ 女性のみ	○	○	○	○	○	
現在の尿漏れ	×	×	×	×	○	○	○	
尿漏れの頻度	○ 女性のみ	○ 女性のみ	○	○	○	○	○	1st-2nd：「尿漏れ経験」の下位4項目の質問形式が異なる.
尿漏れの量	○ 女性のみ	○ 女性のみ	○	○	○	○	○	**＜出典＞** ICIQ-Short Form (ICIQ-SF) Karantanis, E., Fynes, M., Moore, KH., Stanton, SL. (2004). Comparison of the ICIQ-SF and 24-hour pad test with other measures for evaluating the severity of urodynamic stress incontinence. Int urogynecol J Pelvic Floor Dysfunct, 15, 111-116.
毎日の生活がそこなわれている度合い	×	○ 女性のみ	○	○	○	○	○	
尿漏れの機会	○ 女性のみ	○ 女性のみ	○	○	○	○	○	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
9. 人口統計学的変数								
就業状況	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
現在の職種	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
夜勤の有無	○	○	○	×	×	×	×	
夜勤の日数	○	○	○	×	×	×	×	
勤務先の役職	○	×	×	×	×	×	×	
直属の部下の有無	○	×	×	×	×	×	×	
勤務先の従業者数	○	×	×	×	×	×	×	
1週間の残業時間	○	○	○	×	×	×	×	
定年退職経験	×	○	×	×	×	×	×	
勤務年数の最も長い仕事	○	○	○	×	×	×	×	1st：退職経験がある人のみ質問，2nd：定年退職経験がある人のみ質問，3rd：全対象者が質問.
最も長い仕事の勤続年数	○	○	○	×	×	×	×	1st：退職経験がある人のみ質問，2nd：定年退職経験がある人のみ質問，3rd：全対象者が質問.
家族の年収合計	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
経済状態に対する満足度	×	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
教育歴	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	1st：学歴，2nd-3rd：学歴と教育年数.
結婚状況	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
10. 余暇の過ごし方・生きがい								
余暇の過ごし方	×	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
生きがい	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	
11. 家族								
同居家族	○	○	○	(心)	(心)	(心)	(心)	各Waveで「同居家族」について質問形式が異なる（4th以降の心理調査票では同一形式）.
介護している家族	○	○	○	×	×	×	×	1st-2nd：「介護している家族はいるか」と下位2項目について質問形式が異なる.
要介護者の続柄	○	○	○	×	×	×	×	
介護者の続柄	○	○	×	×	×	×	×	
介護の関わりの程度	×	×	○	×	×	×	×	
要介護者の居住状況	×	×	○	×	×	×	×	
在宅介護サービスの利用	×	×	○	×	×	×	×	
別居している子ども	×	○	○	×	×	×	×	
別居している子どもの数	×	×	○	×	×	×	×	
別居している子どもが訪ねてくる頻度	○	○	○	×	×	×	×	1st：別居している子どもがいる人のみ質問，他のWaveと選択肢が異なる.
別居している子どもと電話や手紙でやり取りする頻度	○	○	○	×	×	×	×	1st：別居している子どもがいる人のみ質問.
存命中の子ども	○	○	×	×	×	×	×	
存命中の子どもの数	○	○	×	×	×	×	×	
存命中の末子の年齢	○	○	×	×	×	×	×	
存命中の孫	○	○	×	×	×	×	×	
存命中の孫の数	○	○	×	×	×	×	×	
単身赴任している家族	×	○	×	×	×	×	×	
単身赴任者の続柄	×	○	×	×	×	×	×	
12. ADL								
Katz Index	(心)	(心)	(心)	(心)	(心)	○	○	**＜出典＞** Katz, S., Ford, A. B., Moskowitz, R. W., Jackson, B. A., & Jaffe, M. W. (1963). Studies of illness in the aged. The index of ADL: A standardized measure of biological and psychosocial function. Journal of the American Medical Association, 185, 914-919.

注1)
背景因子調査は自記式質問紙にて調査を実施.
注2)
「(心)」は「心理調査」の，「(運)」は「運動機能・身体活動量検査」の，データカタログ参照.
注3)
△はデータに大幅な欠損あり.

服用薬物調査(2020.9.2版)

分類番号	変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 神経系及び感覚器官用医薬品									
11	**中枢神経系用薬**								
111	全身麻酔薬	○	○	○	○	○	○	○	
112	催眠鎮静剤，抗不安剤	○	○	○	○	○	○	○	
113	抗てんかん剤	○	○	○	○	○	○	○	
114	解熱鎮痛消炎剤	○	○	○	○	○	○	○	
115	興奮剤、覚せい剤	○	○	○	○	○	○	○	
116	抗パーキンソン剤	○	○	○	○	○	○	○	
117	精神神経用剤	○	○	○	○	○	○	○	
118	総合感冒剤	○	○	○	○	○	○	○	
119	その他の中枢神経系用薬	○	○	○	○	○	○	○	
12	**末梢神経系用薬**								
121	局所麻酔薬	○	○	○	○	○	○	○	
122	骨格筋弛緩剤	○	○	○	○	○	○	○	
123	自律神経剤	○	○	○	○	○	○	○	
124	鎮けい剤	○	○	○	○	○	○	○	
125	発汗剤、止汗剤	○	○	○	○	○	○	○	
129	その他の末梢神経系用薬	○	○	○	○	○	○	○	
13	**感覚器官用薬**								
13100	眼科用剤（その他）	○	○	○	○	○	○	○	
13111	眼科用剤（白内障）	○	○	○	○	○	○	○	
13121	眼科用剤（ピロカルピン）	○	○	○	○	○	○	○	
13122	眼科用剤（β ブロッカー）	○	○	○	○	○	○	○	
13123	眼科用剤（エピネフリン）	○	○	○	○	○	○	○	
13124	眼科用剤（その他の緑内障用薬）	○	○	○	○	○	○	○	
13131	眼科用剤（ステロイド）	○	○	○	○	○	○	○	
13199	不明の眼科用剤	○	○	○	○	○	○	○	
132	耳鼻科用剤	○	○	○	○	○	○	○	
133	鎮うん剤	○	○	○	○	○	○	○	
139	その他の感覚器官用薬	○	○	○	○	○	○	○	
2. 個々の器官系用医薬品									
21	**循環器官用剤**								
21101	ジギタリス製剤	○	○	○	○	○	○	○	
21102	キサンチン製剤	○	○	○	○	○	○	○	
21103	その他の強心剤	○	○	○	○	○	○	○	
21201	β ブロッカー	○	○	○	○	○	○	○	
21202	膜安定化薬	○	○	○	○	○	○	○	
21203	その他の抗不整脈薬	○	○	○	○	○	○	○	
21301	サイアザイド利尿薬	○	○	○	○	○	○	○	
21302	ループ利尿薬	○	○	○	○	○	○	○	
21303	K保持性利尿薬	○	○	○	○	○	○	○	
21304	炭酸脱水酵素（Carbonic Anhydrase）抑制薬	○	○	○	○	○	○	○	
21305	その他の利尿薬	○	○	○	○	○	○	○	
214	不明の降圧剤	○	○	○	○	○	○	○	
21401	ACE阻害薬	○	○	○	○	○	○	○	
21402	Ca拮抗薬	○	○	○	○	○	○	○	
21403	その他の降圧薬	○	○	○	○	○	○	○	
215	血管補強剤	○	○	○	○	○	○	○	
216	血管収縮剤	○	○	○	○	○	○	○	
217	血管拡張剤	○	○	○	○	○	○	○	
218	高脂血症用剤	○	○	○	○	○	○	○	
219	その他の循環器官用薬	○	○	○	○	○	○	○	

分類番号	変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
22	**呼吸器官用薬**								
221	呼吸促進剤	○	○	○	○	○	○	○	
222	鎮咳剤	○	○	○	○	○	○	○	
223	去たん剤	○	○	○	○	○	○	○	
224	鎮咳去たん剤	○	○	○	○	○	○	○	
225	気管支拡張剤	○	○	○	○	○	○	○	
226	含そう剤	○	○	○	○	○	○	○	
229	その他の呼吸器官用薬	○	○	○	○	○	○	○	
23	**消化器官用薬**								
231	止しゃ剤，整腸剤	○	○	○	○	○	○	○	
232	消化性潰瘍用剤	○	○	○	○	○	○	○	
233	健胃消化剤	○	○	○	○	○	○	○	
234	制酸剤	○	○	○	○	○	○	○	
235	下剤，　浣腸剤	○	○	○	○	○	○	○	
236	利胆剤	○	○	○	○	○	○	○	
237	複合胃腸剤	○	○	○	○	○	○	○	
239	その他の消化器官用薬	○	○	○	○	○	○	○	
24	**ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）**								
241	脳下垂体ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
242	唾液腺ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
243	甲状腺，副甲状腺ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
244	タンパク同化ステロイド剤	○	○	○	○	○	○	○	
245	副腎ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
246	男性ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
247	卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
248	混合ホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
249	その他のホルモン剤	○	○	○	○	○	○	○	
25	**泌尿生殖器官及び肛門用薬**								
251	泌尿器官用剤	○	○	○	○	○	○	○	
252	生殖器官用剤	○	○	○	○	○	○	○	
253	子宮収縮剤	○	○	○	○	○	○	○	
254	避妊剤	○	○	○	○	○	○	○	
255	痔疾用剤	○	○	○	○	○	○	○	
259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	○	○	○	○	○	○	○	
26	**外皮用薬**								
261	外皮用殺菌消毒剤	○	○	○	○	○	○	○	
262	創傷保護剤	○	○	○	○	○	○	○	
263	化膿性疾患用剤	○	○	○	○	○	○	○	
264	鎮痛，鎮痒，収れん，消炎剤	○	○	○	○	○	○	○	
265	寄生性皮膚疾患用剤	○	○	○	○	○	○	○	
266	皮膚軟化剤	○	○	○	○	○	○	○	
267	毛髪用剤	○	○	○	○	○	○	○	
268	浴剤	○	○	○	○	○	○	○	
269	その他の外皮用剤	○	○	○	○	○	○	○	
270	ステロイド系外皮用剤	×	○	○	○	○	○	○	
27	**歯科口腔用薬**								
271	歯科用局所麻酔剤	○	○	○	○	○	○	○	
272	歯髄失活剤	○	○	○	○	○	○	○	
273	歯科用鎮痛鎮静剤	○	○	○	○	○	○	○	
274	歯髄乾屍剤	○	○	○	○	○	○	○	
275	歯髄覆たく剤	○	○	○	○	○	○	○	
276	歯科用抗生物質製剤	○	○	○	○	○	○	○	
279	その他の歯科口腔用薬	○	○	○	○	○	○	○	
290	その他の個々の器官系用医薬品	○	○	○	○	○	○	○	

分類番号	変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
3.	**代謝性医薬品**								
31	**ビタミン剤**								
311	ビタミンA及びD剤	○	○	○	×	×	×	×	
31101	ビタミンA剤	×	×	×	○	○	○	○	
31102	ビタミンD剤	×	×	×	○	○	○	○	
312	ビタミンB1剤	○	○	○	○	○	○	○	
313	ビタミンB剤（B1除く）	○	○	○	○	○	○	○	
314	ビタミンC剤	○	○	○	○	○	○	○	
315	ビタミンE剤	○	○	○	○	○	○	○	
316	ビタミンK剤	○	○	○	○	○	○	○	
317	混合ビタミン剤	○	○	○	○	○	○	○	
319	その他のビタミン剤	○	○	○	○	○	○	○	
32	**滋養強壮薬**								
321	カルシウム剤	○	○	○	○	○	○	○	
322	無機質製剤	○	○	○	○	○	○	○	
323	糖類剤	○	○	○	○	○	○	○	
324	有機酸製剤	○	○	○	○	○	○	○	
325	タンパクアミノ酸製剤	○	○	○	○	○	○	○	
326	臓器製剤	○	○	○	○	○	○	○	
327	乳幼児用剤	○	○	○	○	○	○	○	
329	その他の滋養強壮薬	○	○	○	○	○	○	○	
33	**血液・体液用薬**								
331	血液代用剤	○	○	○	○	○	○	○	
332	止血剤	○	○	○	○	○	○	○	
333	血液凝固阻止剤	○	○	○	○	○	○	○	
339	その他の血液・体液用薬	○	○	○	○	○	○	○	
34	**人工透析用薬**								
341	人工腎臓透析用剤	○	○	○	○	○	○	○	
342	腹膜透析用剤	○	○	○	○	○	○	○	
349	その他の人工透析用薬	○	○	○	○	○	○	○	
39	**その他の代謝性医薬品**								
391	肝臓疾患用剤	○	○	○	○	○	○	○	
392	解毒剤	○	○	○	○	○	○	○	
393	習慣性中毒用剤	○	○	○	○	○	○	○	
394	痛風治療剤	○	○	○	○	○	○	○	
395	酵素製剤	○	○	○	○	○	○	○	
396	糖尿病用剤	○	○	○	×	×	×	×	
39600	インスリン	×	×	×	○	○	○	○	
39601	経口糖尿病薬	×	×	×	○	○	○	○	
397	総合代謝性製剤	○	○	○	○	○	○	○	
399	他に分類されない代謝性医薬品	○	○	○	○	○	○	○	
39911	カルシトニン製剤（エルカトニン）	×	×	×	○	○	○	○	
39912	カルシトニン製剤（サケカルシトニン）	×	×	×	○	○	○	○	
39921	ビスホスホネート系（アレンドロン酸ナトリウム水和物）	×	×	×	○	○	○	○	
39922	ビスホスホネート系（リセドロン酸ナトリウム水和物）	×	×	×	○	○	○	○	
39923	ビスホスホネート系（エチドロン酸二ナトリウム）	×	×	×	○	○	○	○	
39924	ビスホスホネート系（ミノドロン酸水和物）	×	×	×	×	×	×	○	
39931	イプリフラボン	×	×	×	○	○	○	○	
39941	選択的エストロゲン受容体モジュレータ	×	×	×	○	○	○	○	

分類番号	変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
4.	**組織細胞機能用医薬品**								
41	**細胞賦活用薬**								
411	クロロフィル製剤	○	○	○	○	○	○	○	
412	色素製剤	○	○	○	○	○	○	○	
419	その他の細胞賦活用薬	○	○	○	○	○	○	○	
42	**腫瘍用薬**								
421	アルキル化剤	○	○	○	○	○	○	○	
422	代謝拮抗剤	○	○	○	○	○	○	○	
423	抗腫瘍性抗生物質製剤	○	○	○	○	○	○	○	
424	抗腫瘍性植物成分製剤	○	○	○	○	○	○	○	
429	その他の腫瘍用薬	○	○	○	○	○	○	○	
44	**アレルギー用薬**								
441	抗ヒスタミン剤	○	○	○	○	○	○	○	
442	刺激療法剤	○	○	○	○	○	○	○	
443	非特異性免疫原製剤	○	○	○	○	○	○	○	
449	その他のアレルギー用薬	○	○	○	○	○	○	○	
5.	**生薬及び漢方処方に基づく医薬品**								
510	生薬	○	○	○	○	○	○	○	
520	漢方製剤	○	○	○	○	○	○	○	
590	その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	○	○	○	○	○	○	○	
6.	**病原生物に対する医薬品**								
61	**抗生物質製剤**								
611	主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
612	主としてグラム陰性菌に作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
614	主としてグラム陽性菌，マイコプラズマに作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
615	主としてグラム陽性・陰性菌，リケッチア，クラミジアに作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
616	主として抗酸菌に作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
617	主としてカビに作用する抗生物質	○	○	○	○	○	○	○	
619	その他の抗生物質製剤	○	○	○	○	○	○	○	
62	**化学療法剤**								
621	サルファ剤	○	○	○	○	○	○	○	
622	抗結核剤	○	○	○	○	○	○	○	
623	治らい剤	○	○	○	○	○	○	○	
624	合成抗菌剤	○	○	○	○	○	○	○	
625	抗ウイルス剤	○	○	○	○	○	○	○	
629	その他の化学療法剤	○	○	○	○	○	○	○	
63	**生物学的製剤**								
631	ワクチン類	○	○	○	○	○	○	○	
632	毒素及びトキソイド類	○	○	○	○	○	○	○	
633	抗毒素類及びレプトスピラ血清類	○	○	○	○	○	○	○	
634	血液製剤類	○	○	○	○	○	○	○	
635	生物学的試験用製剤類	○	○	○	○	○	○	○	
636	混合生物学的製剤	○	○	○	○	○	○	○	
639	その他の生物学的製剤	○	○	○	○	○	○	○	
64	**寄生動物用薬**								
641	抗原虫剤	○	○	○	○	○	○	○	
642	駆虫剤	○	○	○	○	○	○	○	
649	その他の寄生動物に対する医薬品	○	○	○	○	○	○	○	

分類番号	変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
7. 治療を主目的としない医薬品									
71	**調剤用薬**								
711	賦形剤	○	○	○	○	○	○	○	
712	軟膏基剤	○	○	○	○	○	○	○	
713	溶解剤	○	○	○	○	○	○	○	
714	矯味，矯臭，着色剤	○	○	○	○	○	○	○	
715	乳化剤	○	○	○	○	○	○	○	
719	その他の調剤用薬	○	○	○	○	○	○	○	
72	**診断用薬（体外診断用医薬品を除く）**								
721	X線造影剤	○	○	○	○	○	○	○	
722	機能検査用試薬	○	○	○	○	○	○	○	
729	その他の診断用薬	○	○	○	○	○	○	○	
73	**公衆衛生用薬**								
731	防腐剤	○	○	○	○	○	○	○	
732	防疫用殺菌消毒剤	○	○	○	○	○	○	○	
733	防虫剤	○	○	○	○	○	○	○	
734	殺虫剤	○	○	○	○	○	○	○	
735	殺そ剤	○	○	○	○	○	○	○	
739	その他の公衆衛生用薬	○	○	○	○	○	○	○	
74	**体外診断用医薬品**								
741	一般検査用試薬	○	○	○	○	○	○	○	
742	血液検査用試薬	○	○	○	○	○	○	○	
743	生化学的検査用試薬	○	○	○	○	○	○	○	
744	免疫血清学的検査用試薬	○	○	○	○	○	○	○	
745	細菌学的検査用薬	○	○	○	○	○	○	○	
746	病理組織検査用薬	○	○	○	○	○	○	○	
747	体外診断用放射性医薬品	○	○	○	○	○	○	○	
749	その他の体外診断用医薬品	○	○	○	○	○	○	○	
79	**その他の治療を主目的としない医薬品**								
791	絆創膏	○	○	○	○	○	○	○	
799	他に分類されない治療を主目的としない医薬品	○	○	○	○	○	○	○	
8. 麻薬									
81	**アルカロイド系麻薬（天然麻薬）**								
811	アヘンアルカロイド系製剤	○	○	○	○	○	○	○	
812	コカアルカロイド系製剤	○	○	○	○	○	○	○	
819	その他のアルカロイド系麻薬	○	○	○	○	○	○	○	
82	**非アルカロイド系麻薬**								
821	合成麻薬	○	○	○	○	○	○	○	
9. 分類不能の薬品									
999	分類不能の薬品	○	○	○	○	○	○	○	
.	使用薬物なし	○	○	○	○	○	○	○	

注1)
日本標準商品分類番号に従い，医薬品を表す87以降の薬効分類番号3行を記載した．続く数字は，NILS-LSA独自のコードである．

注2)
過去2週間に使用したすべての処方薬及び市販薬をコード化している．すべての薬剤は日本薬局方収載医薬品薬効別分類に基づいてコード化した．

注3)
「分類不能の薬品」の分類コードは便宜的に「999」とした．

注4)
1st-2ndでは「13100 眼科用剤（その他）」と「13199 不明の眼科用剤」が混在している．

食物・栄養調査(2020.9.2版)

変数		項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 写真撮影を併用した3日間食事秤量記録調査　＜はかり・使い捨てカメラ使用＞										
栄養素等摂取量		123								食品成分表2015参照.
エネルギー	Kcal		○	○	○	○	○	○	○	
水分	g		○	○	○	○	○	○	○	
たんぱく質	g		○	○	○	○	○	○	○	
アミノ酸組成から計算したたんぱく質	g		○	○	○	○	○	○	○	
脂質	g		○	○	○	○	○	○	○	
トリアシルグリセロール当量	g		○	○	○	○	○	○	○	
炭水化物	g		○	○	○	○	○	○	○	
灰分	g		○	○	○	○	○	○	○	
ナトリウム	mg		○	○	○	○	○	○	○	
カリウム	mg		○	○	○	○	○	○	○	
カルシウム	mg		○	○	○	○	○	○	○	
マグネシウム	mg		○	○	○	○	○	○	○	
リン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
鉄	mg		○	○	○	○	○	○	○	
亜鉛	mg		○	○	○	○	○	○	○	
銅	mg		○	○	○	○	○	○	○	
マンガン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ヨウ素	μg		○	○	○	○	○	○	○	
セレン	μg		○	○	○	○	○	○	○	
クロム	μg		○	○	○	○	○	○	○	
モリブデン	μg		○	○	○	○	○	○	○	
レチノール	μg		○	○	○	○	○	○	○	
α-カロテン	μg		○	○	○	○	○	○	○	
β-カロテン	μg		○	○	○	○	○	○	○	
クリプトキサンチン	μg		○	○	○	○	○	○	○	
β-カロテン当量	μg		○	○	○	○	○	○	○	
レチノール当量	μg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンD	μg		○	○	○	○	○	○	○	
α-トコフェロール	mg		○	○	○	○	○	○	○	
β-トコフェロール	mg		○	○	○	○	○	○	○	
γ-トコフェロール	mg		○	○	○	○	○	○	○	
δ-トコフェロール	mg		○	○	○	○	○	○	○	
α-トコフェロール当量	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンK	μg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンB1	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンB2	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ナイアシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンB6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンB12	μg		○	○	○	○	○	○	○	
葉酸	μg		○	○	○	○	○	○	○	
パントテン酸	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ビオチン	μg		○	○	○	○	○	○	○	
ビタミンC	mg		○	○	○	○	○	○	○	
コレステロール	mg		○	○	○	○	○	○	○	
食物繊維水溶性	g		○	○	○	○	○	○	○	
食物繊維不溶性	g		○	○	○	○	○	○	○	
食物繊維総量	g		○	○	○	○	○	○	○	
食塩	g		○	○	○	○	○	○	○	
イソロイシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ロイシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	

変数		項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
リジン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
メチオニン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
シスチン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
含硫アミノ酸合計		mg	○	○	○	○	○	○	○	
フェニルアラニン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
チロシン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
芳香族アミノ酸		mg	○	○	○	○	○	○	○	
スレオニン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
トリプトファン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
バリン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
ヒスチジン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
アルギニン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
アラニン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
アスパラギン酸		mg	○	○	○	○	○	○	○	
グルタミン酸		mg	○	○	○	○	○	○	○	
グリシン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
プロリン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
セリン		mg	○	○	○	○	○	○	○	
アミノ酸合計		mg	○	○	○	○	○	○	○	
アンモニア		mg	○	○	○	○	○	○	○	
脂肪酸総量		g	○	○	○	○	○	○	○	
飽和脂肪酸		g	○	○	○	○	○	○	○	
一価不飽和脂肪酸		g	○	○	○	○	○	○	○	
多価不飽和脂肪酸		g	○	○	○	○	○	○	○	
不飽和脂肪酸		g	○	○	○	○	○	○	○	
n-6系多価不飽和脂肪酸		g	○	○	○	○	○	○	○	
n-3系多価不飽和脂肪酸		g	○	○	○	○	○	○	○	
酪酸		mg	○	○	○	○	○	○	○	
ヘキサン酸	6:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ヘプタン酸	7:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
オクタン酸	8:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
デカン酸	10:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ラウリン酸	12:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
トリデカン酸	13:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ミリスチン酸	14:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ペンタデカン酸	15:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ペンタデカン酸 (ant)	15:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
パルミチン酸	16:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
パルミチン酸 (iso)	16:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ヘプタデカン酸	17:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ヘプタデカン酸 (ant)	17:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ステアリン酸	18:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
アラキジン酸	20:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ベヘン酸	22:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
リグノセリン酸	24:0	mg	○	○	○	○	○	○	○	
デセン酸	10:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ミリストレイン酸	14:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ペンタデセン酸	15:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
パルミトレイン酸	16:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ヘプタデセン酸	17:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
オレイン酸	18:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
イコセン酸	20:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
ドコセン酸	22:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	
テトラコセン酸	24:1	mg	○	○	○	○	○	○	○	

変数			項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
ヘキサデカジエン酸	16:2	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ヘキサデカトリエン酸	16:3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ヘキサデカテトラエン酸	16:4	mg		○	○	○	○	○	○	○	
リノール酸	18:2 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
α-リノレン酸	18:3 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
γ-リノレン酸	18:3 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
オクタデカテトラエン酸	18:4 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
イコサジエン酸	20:2 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
イコサトリエン酸	20:3 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
イコサテトラエン酸	20:4 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
アラキドン酸	20:4 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
イコサペンタエン酸	20:5 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ヘンイコサペンタエン酸	21:5 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ドコサジエン酸	22:2	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ドコサテトラエン酸	22:4 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ドコサペンタエン酸	22:5 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ドコサペンタエン酸ｎ-6	22:5 n-6	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ドコサヘキサエン酸	22:6 n-3	mg		○	○	○	○	○	○	○	
アルコール		ml		○	○	○	○	○	○	○	
食品群別摂取量			19								食品成分表2015参照.
穀類		g		○	○	○	○	○	○	○	
いも及びでん粉類		g		○	○	○	○	○	○	○	
砂糖及び甘味類		g		○	○	○	○	○	○	○	
豆類		g		○	○	○	○	○	○	○	
種実類		g		○	○	○	○	○	○	○	
野菜類 その他		g		○	○	○	○	○	○	○	
野菜類 緑黄色野菜		g		○	○	○	○	○	○	○	
果実類		g		○	○	○	○	○	○	○	
きのこ類		g		○	○	○	○	○	○	○	
藻類		g		○	○	○	○	○	○	○	
魚介類		g		○	○	○	○	○	○	○	
肉類		g		○	○	○	○	○	○	○	
卵類		g		○	○	○	○	○	○	○	
乳類		g		○	○	○	○	○	○	○	
油脂類		g		○	○	○	○	○	○	○	
菓子類		g		○	○	○	○	○	○	○	
嗜好飲料類		g		○	○	○	○	○	○	○	
調味香辛料		g		○	○	○	○	○	○	○	
水		g		○	○	○	○	○	○	○	
食品（細分類）別摂取量			1878	○	○	○	○	○	○	○	
サプリメントからの栄養素等摂取量			-								サプリメント外装記載値参照.
2.嗜好飲料調査（FFQ）＜対面聞き取り方式＞											
アルコール飲料			6								過去1年の摂取量
日本酒（頻度，量）				×	○	○	○	○	○	○	
しょうちゅう（頻度，量）				×	○	○	○	○	○	○	2nd-4th：「しょうちゅう」に缶チューハイ、梅酒、果実酒含む
チューハイなど（頻度，量）				×	×	×	×	○	○	○	
ビール・発泡酒（頻度，量）				×	○	○	○	○	○	○	
ワイン（頻度，量）				×	○	○	○	○	○	○	
ハードリカー（頻度，量）				×	○	○	○	○	○	○	

変数		項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
その他の飲料		7								過去1年の摂取量
コーヒーなど（頻度，量）			×	○	○	○	○	○	○	
紅茶（頻度，量）			×	○	○	○	○	○	○	
日本茶（頻度，量）			×	○	○	○	○	○	○	「日本茶」は緑茶（玉露、抹茶、煎茶、かまいり茶、番茶、ほうじ茶、玄米茶）を指す
ウーロン茶（頻度，量）			×	○	○	○	○	○	○	「ウーロン茶」は、ウーロン茶の他、緑茶以外の麦茶やハーブ茶などの健康茶を含む
牛乳（頻度，量）			×	×	×	×	×	×	○	
炭酸飲料			×	○	○	○	×	×	×	
スポーツドリンク			×	○	○	○	×	×	×	
かんきつ類		3								出盛り期の摂取量
みかん（頻度，量）			×	×	×	×	○	○	○	
その他のかんきつ類（頻度，量）			×	×	×	×	○	○	○	
みかん・オレンジジュース（頻度，量）			×	×	×	×	○	○	○	
3.食物摂取頻度調査（FFQ）										
食物摂取頻度調査票		172	○	×	×	×	×	×	×	
食品/料理		(151)								
飲料		(13)								
ビタミン剤		(8)								
NILS-LSAで作成したデータベース										
NILS-LSAアミノ酸成分表に基づくアミノ酸摂取量		20								1,745食品
イソロイシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ロイシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
リジン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
メチオニン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
シスチン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
含硫アミノ酸合計	mg		○	○	○	○	○	○	○	
フェニルアラニン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
チロシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
芳香族アミノ酸	mg		○	○	○	○	○	○	○	
スレオニン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
トリプトファン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
バリン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
ヒスチジン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
アルギニン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
アラニン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
アスパラギン酸	mg		○	○	○	○	○	○	○	
グルタミン酸	mg		○	○	○	○	○	○	○	
グリシン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
プロリン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
セリン	mg		○	○	○	○	○	○	○	
サプリメントデータベース		－	×	○	○	○	○	○	○	2,961種

骨密度検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 骨密度								
全身骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	二重X線吸収装置 DXA QDR-4500 (Hologic, 東洋メディック株式会社)
全身骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
頭部骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
頭部骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
左上肢骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左上肢骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
右上肢骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右上肢骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
左肋骨骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左肋骨骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
右肋骨骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右肋骨骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
胸椎骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
胸椎骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
腰椎骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
腰椎骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
骨盤骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
骨盤骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
左下肢骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左下肢骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
右下肢骨量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右下肢骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
腰椎L2-L4骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
腰椎L2-L4骨密度 (YAM%)	×	×	○	○	○	×	×	
右大腿骨頚部骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
右大転子骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
右ワード三角骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
左大腿骨頚部骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
左大転子骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
左ワード三角骨密度 (g/cm^2)	○	○	○	○	○	○	○	
腰椎骨密度による骨減少・骨粗鬆症の割合	×	×	×	×	×	○	○	
大腿骨頸部骨密度による骨減少・骨粗鬆症の割合	×	×	×	×	×	○	○	
2. 末梢骨用定量的CT (pQCT)								
橈骨遠位端の海綿骨骨密度 (mg/cm^3)	○	○	○	×	×	×	×	高解像度pQCTシステム Densiscan-1000 (スイスSCANCO Medical, 日本電子輸入販売株式会社)
橈骨遠位端の全骨骨密度 (mg/cm^3)	○	○	○	×	×	×	×	
橈骨近位端の皮質骨骨密度 (mg/cm^3)	○	○	○	×	×	×	×	

血液検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave 97.11-	1st Wave 98.04-	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 血液生化学検査									
総蛋白 (g/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
総ビリルビン (mg/dL)	○		○	×	×	×	×	×	
トリグリセライド (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
総コレステロール (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
HDLコレステロール (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
LDLコレステロール (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
尿素窒素 (mg/dL)	○	×	×	×	×	×	×	×	
尿酸 (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
クレアチニン (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	2nd期間中に検査方法の変更あり.
GOT (U/L)	○		○	○	○	○	○	○	
GPT (U/L)	○		○	○	○	○	○	○	
LDH (U/L)	○	×	×	×	×	×	×	×	
アルカリフォスファターゼ (U/L)	○		○	×	×	×	×	×	
γ-GTP (U/L)	○		○	○	○	○	○	○	
コリンエステラーゼ (U/L)	○		○	○	○	○	○	○	
フィブリノーゲン (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
総ホモシステイン (nmol/mL)	○		×	×	×	×	×	×	
アポA1 (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
アポA2 (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
アポB (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
アポC2 (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
アポC3 (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
アポE (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
レプチン (ng/mL)	○		×	×	×	○	×	×	
高分子量アディポネクチン (μg/mL)	×		×	×	×	○	×	×	
血小板活性化因子アセチルヒドロラーゼ (U/L)	○		×	×	×	×	×	×	
リポタンパクa (mg/dL)	○		×	×	×	×	×	×	
パラオキソネース (nmol/min/mL)	○		×	×	×	×	×	×	
オステオカルシン (ng/mL)	○		×	×	×	×	×	×	
骨型アルカリフォスファターゼ (U/L)	○		×	×	×	×	×	×	
高感度CRP (ng/mL)	○		×	×	×	○	×	×	1st-5th間 (2003.4.1) に検査方法の変更あり. 高感度CRP (ng/mL) 50未満を50とする.
2. 血清ミネラル									
マグネシウム (mg/dL)	○		○	○	×	○	×	×	
過酸化脂質(nmol/mL)	○		○	○	×	×	×	×	
鉄 (μg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
フェリチン (ng/mL)	×		×	×	×	○	×	○	
ナトリウム (mEq/L)	○	×	×	×	×	×	×	×	
クロール (mEq/L)	○	×	×	×	×	×	×	×	
カリウム (mEq/L)	○	×	×	×	×	×	×	×	
カルシウム (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	6th期間中に検査方法の変更あり.
リン (mg/dL)	○		○	○	○	○	○	○	
銅 (μg/dL)	○	×	×	×	×	○	×	○	
亜鉛 (μg/dL)	○		○	×	×	×	×	×	

変数	1st Wave 97.11- 98.04-	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
3. 血清ビタミン								
ビタミンA（IU/dL）	○	○	○	×	×	×	×	
ルテイン（μg/mL）	×	×	×	×	○	×	×	
ゼアキサンチン（μg/mL）	×	×	×	×	○	×	×	
α-カロチン（μg/mL）	×	×	×	×	○	×	×	
リコペン（μg/mL）	×	×	×	×	○	×	×	
β-カロチン（μg/mL）	×	×	×	×	○	×	×	
β-クリプトキサンチン（μg/mL）	×	×	×	×	○	×	×	
葉酸（ng/mL）	○	×	×	×	×	×	×	葉酸（ng/mL）は20.0以上を20.0とする.
25-OHビタミンD（ng/mL）	×	×	×	×	○	×	○	5th 25-OHビタミンD（ng/mL）は5未満を5とする.
4. 甲状腺ホルモン								
甲状腺ホルモン遊離T3（pg/mL）	◎	○	○	×	×	×	○	2nd期間中に検査方法の変更あり.
甲状腺ホルモン遊離T4（ng/dL）	○	○	○	×	×	×	○	2nd期間中に検査方法の変更あり.
甲状腺刺激ホルモン（μIU/mL）	○	○	○	×	×	×	○	甲状腺刺激ホルモン（μIU/mL）は0.005未満を0.005, 100以上を100とする.
5. 性ホルモン								
エストラジオール（pg/mL）	○	×	×	×	×	×	×	
テストステロン（ng/mL）	◎	×	×	×	○ 男性のみ	×	○	5th期間中に検査方法・単位変更あり. 1stの単位は“ng/dL”. 1st テストステロンは5.0未満は5.0とする.
遊離テストステロン（pg/mL）	○	×	×	×	○ 男性のみ	×	○	遊離テストステロン（pg/mL）は0.6未満を0.6とする.
性ホルモン結合グロブリン（nmol/L）	△	×	×	×	×	×	×	1st性ホルモン結合グロブリンデータは1000名分程度：1st途中（1999.3.10）から中止.
DHEA-S（μg/dL）	◎	◎	◎	×	○	×	○	5th期間中に検査方法・単位変更あり. 1st-3rdの単位は“ng/mL”. 5th,7th DHEA-S（μg/dL)は2未満を2とする.
6. 糖代謝								
空腹時インスリン（μIU/mL）	○	○	○	○	○	×	○	5th期間中に検査方法の変更あり. 5th,7th 空腹時インスリン（μIU/mL）は0.3未満を0.3とする.
シアル酸（mg/dL）	○	○	○	○	○	×	×	
空腹時血糖（グルコース）（mg/dL）	○	○	○	○	○	○	○	
ヘモグロビンA1c（%）	○	○	○	○	○	○	○	
7. 蛋白分画								
アルブミン（直接法）（g/dL）	×	○	○	○	○	○	○	○	
アルブミン（分画）（%）	○	×	×	×	×	×	×	×	
α1グロブリン（%）	○	×	×	×	×	×	×	×	
α2グロブリン（%）	○	×	×	×	×	×	×	×	
βグロブリン（%）	○	×	×	×	×	×	×	×	
γグロブリン（%）	○	×	×	×	×	×	×	×	
A/G比	○	×	×	×	×	×	×	×	
8. 脂肪酸分画								
脂肪酸4分画（μg/dL）	○	○	○	×	×	×	×	血清ジホモγリノレン酸・血清アラキドン酸・血清エイコサペンタエン酸・血清ドコサヘキサエン酸
脂肪酸全分画（24種）（μg/dL）	×	×	×	×	○	×	○	ラウリン酸・ミリスチン酸・ミリストレイン酸・パルミチン酸・パルミトレイン酸・ステアリン酸・オレイン酸・リノール酸・γ-リノレン酸・リノレン酸・アラキジン酸・エイコセン酸・エイコサジエン酸・5-8-11エイコサトリエン酸・ジホモ-γ-リノレン酸・アラキドン酸・エイコサペンタエン酸・ベヘニン酸・エルシン酸・ドコサテトラエン酸・ドコサペンタエン酸・リグノセリン酸・ドコサヘキサエン酸・ネルボン酸 ミリストレイン酸（μg/mL）はすべて0.1未満で, すべて欠損値とする. エルシン酸（μg/mL）は1.0未満を1.0とする. 5-8-11エイコサトリエン酸（μg/mL）は0.5未満を0.5とする.
9. アミノ酸分画								
アミノ酸分画（39種）（nmol/mL）	△	×	×	×	×	×	×	サルコシン・α-アミノアジピン酸・シスタチオニン・γ-アミノβヒドロキシ酪酸・α-アミノ酪酸・ホモシスチン・カルノシン・アンセリン・ヒドロキシリジン：データは0または数名分程度. ヒドロキシプロリン・β-アラニン・β-アミノイソ酪酸・3-メチルヒスチジン・1-メチルヒスチジン：500名分程度. タウリン・アスパラギン酸・スレオニン・セリン・アスパラギン・グルタミン酸・グルタミン・プロリン・グリシン・アラニン・シトルリン・バリン・シスチン・メチオニン・イソロイシン・ロイシン・チロシン・フェニルアラニン・γ-アミノ酪酸・モノエタノールアミン・ヒスチジン・トリプトファン・オルニチン・リジン・アルギニン：データは1400名分程度.

変数	1st Wave 97.11- 98.04-	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
10. 血球計算								
白血球数 (/μL)	○	○	○	○	○	○	○	
赤血球数 (x10000/μL)	○	○	○	○	○	○	○	
ヘモグロビン (g/dL)	○	○	○	○	○	○	○	
ヘマトクリット (%)	○	○	○	○	○	○	○	
MCV (fL)	○	○	○	○	○	○	○	
MCH (pg)	○	○	○	○	○	○	○	
MCHC (%)	○	○	○	○	○	○	○	
血小板数 (x10000/μL)	○	○	○	○	○	○	○	2nd-7th：血小板凝集者は血小板数 (x10000/μl) を欠損値とする.
11. 抗ウイルス・細菌抗体								
抗ヘリコバクターピロリ抗体 (U/mL)	×	×	×	×	○	×	×	
抗単純ヘルペスウイルス抗体	×	×	×	×	○	×	×	抗単純ヘルペスウイルス抗体は2未満を2とする.
抗EBウイルス抗体	×	×	×	×	○	×	×	
抗サイトメガロウイルス抗体	×	×	×	×	○	×	×	抗サイトメガロウイルス抗体は2未満を2とする.

注1)
対象者は，調査前日の夜9時以降絶食，調査当日の朝9時-9時30分ごろに採血.
注2)
1stの1997.11-1998.3のデータは150名分程度，1stの1998.4以降のデータは2100名分程度.
注3)
非絶食者は，1st-5thおよび7thでは血糖・インスリン・トリグリセライドを，6thでは血糖・トリグリセライドを欠損値とする.
注4)
△は，データに大幅な欠損あり．◎は，検査方法変更のため，新検査法への換算が必要.

尿検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
ヘモグロビン (/μL)	○	○	○	×	×	×	×	
潜血 (/μL)	○	○	○	×	×	×	×	
ケトン体 (mg/dL)	○	○	○	×	×	×	×	
ビリルビン (mg/dL)	○	○	○	×	×	×	×	
ウロビリノーゲン (mg/dL)	○	○	○	×	×	×	×	
蛋白 (mg/dL)	○	○	○	×	×	×	×	
ブドウ糖 (mg/dL)	○	○	○	×	×	×	×	
pH	○	○	○	×	×	×	×	
亜硝酸塩	○	○	○	×	×	×	×	
尿中Ⅰ型コラーゲン架橋Nテロペプチド (nmol BCE)	○	×	×	×	×	×	×	
尿中デオキシピリノジリン (nmol)	○	×	×	×	×	×	×	
尿中クレアチニン (mg/dL)	○	×	×	×	×	×	×	

注1)
対象者は，調査前日の夜9時以降絶食，調査当日の朝8時30分-9時ごろに採尿.

心理調査(2020.9.2版)

変数	項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 自記式質問紙調査									
1) うつ									
Center for Epidemiologic Studies Depression Scale (CES-D)	20	○	○	○	○	○	○	○	**＜出典＞** ①Radloff, L. S. (1977). The CES-D Scale: A self-report depression scale for research in the general population. Applied Psychological Measurement, 1(3), 385-401. ②島 悟, 鹿野達男, 北村俊則, 浅井昌弘. (1985). 新しい抑うつ性自己評価尺度について. 精神医学, 27(6), 717-723.
抑うつ感情	(7)								
陽性感情	(4)								
身体的症状と精神運動抑制	(7)								
対人関係上の問題	(2)								
Geriatric Depression Scale (短縮版)	15	○	○	○	○	×	×	×	60歳以上のみ. **＜出典＞** ①Sheikh, J. I., & Yesavage, J. A. (1986). Geriatric Depression Scale (GDS): Recent evidence and development of a shorter version. In T. L. Brink (Ed.), Clinical Gerontology : A Guide to Assessment and Intervention (pp. 165-173). NY: The Haworth Press. ②Niino, N., Imaizumi, T., & Kawakami, N. (1991). A Japanese translation of the Geriatric Depression Scale. Clinical Gerontologist, 10, 85-87.
2) ADL									
老研式活動能力指標	13	○	○	○	○	○	○	○	**＜出典＞** 古谷野 亘, 柴田 博, 中里克治, 芳賀 博, 須山靖男. (1987). 地域老人における活動能力の測定－老研式活動能力指標の開発－. 日本公衆衛生雑誌, 34(3), 109-114.
手段的自立	(5)								
知的能動性	(4)								
社会的役割	(4)								
3) 幸福感									
生活満足度尺度 K	9	○	○	○	○	○	○	○	**＜出典＞** 古谷野 亘. (1996). 老年精神医学関連領域で用いられる測度　QOLなどを測定するための測度(2). 老年精神医学雑誌, 7(4), 431-441.
Satisfaction with Life Scale	5	○	×	×	×	×	×	×	独自に翻訳. **＜出典＞** Diener, E., Emmons, R. A., Larsen, R. J., & Griffin, S. (1985). The Satisfaction With Life Scale. Journal of Personality Assessment, 49(1), 71-75.
Psychological Well-Being	43	×	×	×	×	×	○	○	多次元尺度. **＜出典＞** ①西田裕紀子. (2000). 成人女性の多様なライフスタイルと心理的well-beingに関する研究. 教育心理学研究, 48(4), 433-443. ②Ryff, C. D. (1989). Happiness is everything, or is it? Explorations on the meaning of psychological well-being. Journal of Personality and Social Psychology, 57(6), 1069-1081.
人格的成長	(8)								
人生における目的	(8)								
自律性	(8)								
自己受容	(7)								
環境制御力	(6)								
積極的な他者関係	(6)								
4) QOL									
WHO/QOL-26	26	×	×	×	○	×	○	×	多次元尺度. **＜出典＞** 田崎美弥子, 中根允文. (1997). WHO/QOL-26　手引: 金子書房.
全体的評価	(2)								
身体的領域	(7)								
心理的領域	(6)								
社会的関係	(3)								
環境	(8)								
5) 自己・自我									
自尊感情尺度 (Self Esteem)	10	○	○	○	○	○	○	○	**＜出典＞** ①Rosenberg, M. (1965). Society and the adolescent self-image. Princeton, New Jersey: Princeton University Press. ②松下 覚. (1969). Self-imageの研究－self-esteem scaleの作成－. 日本教育心理学会第11回総会発表論文集, 280-281. ③星野 命. (1970). 感情の心理と教育(二). 児童心理, 24(8), 1445-1477.
自律性尺度	8	○	○	×	×	×	×	×	項目一部修正. **＜出典＞** ①林 文俊, 松浦いね, 松浦 均, 若林 満. (1990). 定年退職者の在職中の経験と退職後の生きがい－特定企業を対象とした事例研究－. 経営行動科学, 5(1), 27-38. ②若林 満. (1995). 職場におけるシニアのストレスに関する研究―シニア･ストレス診断調査票の開発を中心に―. 平成6年度シニアプラン公募研究年報, 119-159.

変数	項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
エリクソン心理社会的段階目録検査	56	○	×	×	×	×	×	×	**＜出典＞** ①Rosenthal, D. A., Gurney, R. M., & Moore, S. M. (1981). From trust to intimacy: A new inventory for examining Erikson's stages of psychosocial development. Journal of Youth and Adolescence, 10(6), 525-537. ②中西信男, 佐方哲彦. (1993). EPSI エリクソン心理社会的段階目録検査. In 上里一郎 (Ed.), 心理アセスメントハンドブック (pp. 419-431): 西村書店.
信頼性	(7)								
自律性	(7)								
自主性	(7)								
勤勉性	(7)								
同一性	(7)								
親密性	(7)								
生殖性	(7)								
統合性	(7)								
Locus of Control	18	×	×	○	×	×	×	×	**＜出典＞** 鎌原雅彦, 樋口一辰, & 清水直治. (1982). Locus of Control尺度の作成と、信頼性、妥当性の検討. 教育心理学研究, 30(4), 302-307.
6) パーソナリティ									
NEO-FFI	60	×	○	×	×	○	×	×	多次元尺度. **＜出典＞** 下仲順子, 中里克治, 権藤恭之, 高山 緑. (1999). NEO-PI-R NEO-FFI 共通マニュアル（成人・大学生用）: 東京心理.
神経症傾向	(12)								
外向性	(12)								
開放性	(12)								
調和性	(12)								
誠実性	(12)								
Type A行動パターン	23	×	○	×	×	×	×	×	**＜出典＞** 中野敬子. (1995). 女性を対象としたType A行動パターン測定法－日常行動質問表の作成－. 心理学研究, 66(2), 121-126.
Anger/Impatience	(7)								
Competitiveness/Hard-driving	(8)								
Speed	(4)								
Eagerness/Interest	(4)								
7) 死生観									
死に対する態度尺度	31	○	×	○	×	○	×	○	多次元尺度. 死に関する思索性の指標2項目を含む. **＜出典＞** 丹下智香子, 西田裕紀子, 富田真紀子, 安藤富士子, 下方浩史. (2013). 中高年者に適用可能な死に対する態度尺度(ATDS-A)の構成および信頼性・妥当性の検討. 日本老年医学会雑誌, 50(1), 88-95.
死に対する恐怖	(9)								
死後の生活の存在への信念	(4)								
生を全うさせる意志	(4)								
人生に対して死が持つ意味	(5)								
身体と精神の死	(3)								
8) ワーク・ライフ・バランス									
WFC・WFF尺度	16	×	×	×	×	×	×	○	有職者のみ, 多次元尺度. **＜出典＞** ①富田真紀子, 西田裕紀子, 丹下智香子, 大塚 礼, 安藤富士子, 下方浩史. (2019). 中高年者に適用可能なワーク・ファミリー・バランス尺度の構成. 心理学研究, 89(6), 591-601. **＜参考＞** ②金井篤子. (2002). ワーク・ファミリー・コンフリクトの規定因とメンタルヘルスへの影響に関する心理的プロセスの検討. 産業・組織心理学研究, 15(2), 107-122. ③杉野 勇. (2006). ワーク・ファミリー・フィットの尺度構成－仕事と家庭の軋轢と相互促進－. 現代社会学研究, 19, 1-20.
仕事→家庭葛藤	(5)								
家庭→仕事葛藤	(5)								
仕事→家庭促進	(3)								
家庭→仕事促進	(3)								
仕事に対するコミットメント尺度	16	×	×	×	×	○	○	○	**＜出典＞** ①伊藤裕子. (2003). 職業生活と家庭生活が夫婦の心理的健康に及ぼす影響－ジェンダーギャップの視点から－. 平成13～14年度科学研究費補助金基盤研究©（1）研究成果報告書. ②伊藤裕子, 相良順子, 池田政子. (2006). 職業生活が中年期夫婦の関係満足度と主観的幸福感に及ぼす影響: 妻の就業形態別にみたクロスオーバーの検討. 発達心理学研究, 17(1), 62-72.
満足感	(7)								
のめり込み	(6)								
9) 対人関係									
IPR Inventory	39	×	×	×	○	×	×	×	多次元尺度. **＜出典＞** ①Tilden, V. P., Nelson, C. A., & May, B. A. (1990). The IPR inventory: Development and psychometric characteristics. Nursing Research, 39(6), 337-343. ②Sumi, K. (2003). Reliability and construct validity of the Japanese version of the Interpersonal Relationship Inventory. Perceptual and Motor Skills, 97(1), 135-140.
ソーシャル・サポート	(13)								
互恵	(13)								
対人葛藤	(13)								
高齢者のソーシャルサポート	12	○	○	○	×	×	○	○	1stでは家族内サポートを回答, 2nd以降は家族内/家族以外のサポートを回答. **＜出典＞** 野口裕二. (1991). 高齢者のソーシャルサポート：その概念と測定. 社会老年学, 34, 37-48.
情緒的サポート	(4)								
手段的サポート	(4)								
ネガティブサポート	(4)								

変数	項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
認知（知覚）されたソーシャルサポート	10	○	○	×	×	×	×	×	2ndは面接調査で施行. **＜出典＞** 浦 光博. (1992). セレクション社会心理学8 支え会う人と人－ソーシャルサポートの社会心理学－：サイエンス社.
10) ストレス対処									
ストレス対処行動尺度	30	○	×	×	×	×	×	×	**＜出典＞** 佐方哲彦, 三川俊樹. (1989). 中高年の危機をのりきる. 中西信男(編). 人間形成の心理学－ライフサイクルを解明する－(pp.104-134)：ナカニシヤ出版.
消極的対処	(8)								
意識的忘却	(5)								
感情分離	(3)								
相談	(3)								
行動化	(3)								
積極的対処	(3)								
抑制	(3)								
対処行動尺度	31	×	○	○	×	×	×	×	3rdは面接調査で施行. **＜出典＞** ①島津明人, 小杉正太郎. (1997). 従業員を対象としたストレス調査票作成の試み(2) コーピング尺度の作成. 早稲田心理学年報, 30(1), 19-28. **＜参考＞** ②小杉正太郎. (1997). ジョブストレスの心理学的研究 職場メンタルヘルススケール解説書. パブリックヘルスリサーチセンター.
積極的な問題解決	(9)								
逃避	(7)								
他者からの援助を求める	(5)								
諦め	(5)								
行動・感情の抑制	(5)								
11) 時間的展望									
時間的展望	3	○	×	×	×	×	×	×	独自に作成. 文章完成法. Excelファイルデータ. **＜項目＞** 「今後の私の計画は…」「私のこれからの希望は…」「これから自分は…のように年をとりたい」.
認知年齢および比較年齢に関する尺度	5	×	○	×	×	×	×	×	項目一部修正 **＜出典＞** ①佐藤眞一, 下仲順子, 中里克治, 河合千恵子. (1997). 年齢アイデンティティのコホート差, 性差, およびその規定要因 : 生涯発達の視点から. 発達心理学研究, 8(2), 88-97. ②Kastenbaum, R., Derbin, V., Sabatini, P., & Artt, S. (1972). “The ages of me”: Toward personal and interpersonal definitions of functional aging. Aging and Human Development, 3(2), 197-211.
老いの自覚に関する質問	2	×	×	○	×	×	×	×	**＜項目＞** 自覚の有無, 理由. **＜参考＞** 中山 茂, 藤野信行. (1994). 老年期と老年心理学 市川隆一郎, 藤野信行(編). 老年心理学 増補版, 診断と治療社：1-43.
12) 個人背景要因									
婚姻状況・居住形態に関する質問	2	(背)	(背)	(背)	○	○	○	○	独自に作成. Waveにより質問形式変更あり. **＜項目＞** 婚姻状況, 同居家族構成など.
経済状況・職業・教育歴に関する質問	3-7	(背)	(背)	(背)	○	○	○	○	独自に作成. Waveにより質問形式変更あり. **＜項目＞** 家族年収, 経済状態満足度, 教育歴(年数), 職歴(年数), 就業状況, 職種、就業時間/週など.
役割・社会活動に関する質問	12-27	×	×	○	○	○	○	○	独自に作成の項目と, 「内閣府. (2003). 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査（平成15年度).」を用いた項目あり. Waveにより項目・質問形式変更あり. **＜項目＞** 家族内役割：「家事(内容/量)」「子どもの世話」「病気・障害を持つ家族の世話・介護」「相談相手」「かせぎ手」「まとめ役」など. 社会活動：「健康・スポーツ」「趣味」「地域行事」「生活環境改善」「教育・文化」「生産・就業」「安全管理」「高齢者の支援」「子育て支援」など. 学習活動：「カルチャーセンター」「老人大学」「公開講座」「通信教育」「専門学校/大学・大学院への正規通学」など.
生きがいに関する質問	11-18	(背)	(背)	(背)	○	○	○	○	Waveにより項目変更あり. **＜項目＞** 配偶者・家族/友人/職場仲間/趣味の仲間とのつながり, 子・孫の成長, 仕事, 家事, 社会奉仕/地域活動, 貯蓄, 外出, 学習, 信仰, スポーツ, 健康の維持増進, 趣味・娯楽, 庭仕事, ペットなど. **＜参考＞** ①小林弘治. (1993). 高齢期における「生きがい」に関する一考察―社会参加活動を中心に―. 研究論叢（神戸大学大学院教育学研究科教育過程論・計画論研究室), 1, 29-38. ②矢野香代. (2005). 在宅高齢者のセルフケア能力、主観的幸福感、及び生きがい. 川崎医療福祉学会誌, 14(2), 383-388.
定年退職経験に関する質問	5	×	×	×	×	×	○	×	独自に作成. 一部自由記述データ. **＜項目＞** 定年退職経験, 定年退職後の就業状況・勤務形態, 定年退職後の新規活動など.

変数	項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
2. 面接調査									
1) 認知機能									
WAIS-R-SF	157	○	○	○	○	○	○	○	各下位検査の粗点・評価点，および4下位検査実施法による推定IQ値. **＜出典＞** ①小林重雄，藤田和弘，前川久男，大六一志．(1993)．日本版WAIS-R簡易実施法：日本文化科学社. ②品川不二郎，小林重雄，藤田和弘，前川久男．(1990)．日本版WAIS-R成人知能検査法：日本文化科学社.
知識	(29)								
類似	(14)								
絵画完成	(21)								
符号	(93)								
WAIS-R数唱	28	×	×	○	○	○	○	○	粗点・評価点. **＜出典＞** 品川不二郎，小林重雄，藤田和弘，前川久男．(1990)．日本版WAIS-R成人知能検査法：日本文化科学社.
論理的記憶Ⅰ・Ⅱ	4	×	×	×	○	×	×	×	粗点・パーセンタイル値. **＜出典＞** ①Wechsler, D. (1987). Wechsler Memory Scale-Revised. Psychological Corporation, New York. ②杉下守弘．(2001)．日本版ウエクスラー記憶検査法（WMS-R）：日本文化科学社.
Mini-Mental State Examination (MMSE)	11	×	○	○	○	○	○	○	60歳以上のみ. 1stデータは測定ミスのため参考値. **＜出典＞** ①Folstein, M. F., Folstein, S. E., & McHugh, P. R. (1975). “Mini-Mental State”: A practical method for grading the cognitive state of patients for the clinician. Journal of Psychiatric Research, 12, 189-198. ②加藤伸司．(1996)．テスト式知的機能検査法とその問題点 B. 欧米で開発された検査法. Dementia, 10, 259-277.
2) ライフイベント									
ライフイベントチェックリスト	35-63	○	○	○	○	○	○	○	Waveにより項目変更あり. 1stでは「これまでに」と「過去2年間」を回答. 2nd Wave以降は「過去2年間」（前Wave参加者は両調査間）を回答. **＜項目＞** 子/自分の結婚，自分/家族の離婚，配偶者の浮気，配偶者との別居，配偶者/子/孫・ひ孫/実親/大切な人/大切なペットの死亡，夫婦げんか/和解，性生活の困難，自分/配偶者の妊娠，新しい家族メンバーの加入，子の独立，子/孫・ひ孫の誕生，実親/義理親/実子/義理子との同居，自分/家族の事故・犯罪の被害/加害，投獄，自分/配偶者/家族/大切な人の大ケガ・病気，老いの自覚，住環境の悪化，転居，財産の喪失，借金，借金・ローンの抵当流れ，趣味・娯楽/宗教活動/社会活動/家庭での仕事・役割/生活条件/個人的習慣/睡眠習慣/食習慣の変化，車の運転をやめた，子/配偶者の就職，就職・再就職，転勤，勤務先/内容/条件の変化，仕事上の地位の変化，仕事の失敗・成績不振，定年/依願退職，自分/配偶者の退職，親/上司/子/近所/友人/親族とのトラブル，失恋，マイホームの購入，長期休暇，年の暮れ，個人的な成功，進学・卒業，転校，自然災害など. **＜出典＞** ①三川俊樹，中西信男．(1985)．危機的状況と対処行動に関する研究(1)．日本教育心理学会第27回総会発表論文集，420-421. **＜参考＞** ②Holmes, T. H., & Rahe, R. H. (1967). The social readjustment rating scale. Journal of Psychosomatic Research, 11(2), 213-218.
日常苛立ち事尺度	23-34	×	○	○	○	○	○	○	Waveにより項目変更あり. 2ndのみ自記式質問紙調査で施行. 「過去2年間」（前Wave参加者は両調査間）を回答. **＜項目＞** 自分/家族の将来，自分/家族の健康，出費，借金・ローン，家族に対する責任，低収入，職場・取引先の人/家族/親戚/近所との関係，家事・育児，他人からの妨害，義理の付き合い，異性関係，友人関係，性差別，不規則な生活，周囲からの期待，陰口，公害，新規機器，仕事・家事量，通勤など. **＜出典＞** 宗像恒次．(1993)．燃えつきおよびその関連尺度．桃生寛和，保坂 隆，早野順一郎，木村一博（編），タイプA行動パターン（218-235）：星和書店.
ライフイベントと対処行動	7-8	○	○	×	×	×	×	×	過去2年間での最大イベント（苛立ち事含む）について，半構造化面接．音声データと面接記録用紙データ. **＜項目＞** イベントの概要，感情・評価・意味づけ，適応課題，対処行動，イベント後の変化など.
最大イベント	1-4	×	×	○	○	○	○	○	過去2年間での最大イベント（苛立ち事含む）について．Waveにより項目変更あり. **＜項目＞** 内容，時期，評価，予測可能性など.

変数	項目数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
3) 余暇活動									
余暇活動に関する質問	3-23	(背)	(背)	(背)	○	○	○	○	Waveにより項目・質問形式変更あり. **＜項目＞** 新聞/本を読む，執筆，クイズ・クロスワードパズル，盤ゲーム・カードゲーム，集団での討論，演奏・合唱，創作，芸術鑑賞，パソコン，個人/チーム競技，エクササイズ，水泳，ウォーキング，ジョギング，ハイキング・登山，釣り，庭仕事，旅行，知的/身体的学習活動，ボランティア活動など. **＜参考＞** ①Verghese, J., Lipton, R. B., Katz, M. J., Hall, C. B., et al.. (2003). Leisure activities and the risk of dementia in the elderly. The New England Journal of Medicine, 348(25), 2508-2516. ②内閣府. (2003) .高齢者の地域社会への参加に関する意識調査 (平成15年度).
4) 対人関係									
ソーシャルネットワーク	1	○	○	○	○	○	○	○	独自にコード化. Waveにより一部コードが異なる. **＜出典＞** ①Kahn, R. L., & Antonucci, T. C. (1980). Convoys over the life course: Attachment, roles, and social support. In P. B. Baltes & J. Orville G. Brim (Eds.), Life-Span Development and Behavior: Vol. 3 (pp. 253-286.). New York: Academic Press. ②Kahn & Antonucci. (1993). 遠藤利彦(訳). 生涯にわたる「コンボイ」：愛着・役割・社会的支え. 東 洋, 柏木惠子, 高橋惠子 (編集・監訳). 生涯発達の心理学 2巻 気質・自己・パーソナリティ (pp.33-70) : 新曜社.
5) ADL									
Katz Index	6	○	○	○	○	○	(背)	(背)	**＜出典＞** Katz, S., Ford, A. B., Moskowitz, R. W., Jackson, B. A., & Jaffe, M. W. (1963). Studies of illness in the aged. The index of ADL: A standardized measure of biological and psychosocial function. Journal of the American Medical Association, 185, 914-919.
6) 個人背景要因									
職業に関する補足質問	4	(背)	○	×	×	×	×	×	独自に作成. **＜項目＞** 会社・公官庁への勤務，勤務先の従業者数，職位，部下の有無.

注1)
「(背)」は「背景因子調査」のデータカタログ参照.
注2)
「その他」などの選択肢に付帯する自由記述欄への記載内容は，ほぼ未入力.
注3)
下位尺度が設定されている尺度（変数）については，字下げして下位尺度名を列挙し，項目数をカッコつきで表示した.
注4)
総得点を求めずに各下位尺度得点のみを指標として用いる尺度（変数）については，備考欄に「多次元尺度」と記載した.

聴覚検査(2020.9.2版)

変数		1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 標準純音聴力検査									
右気導	125Hz	×	○	○	○	○	○	○	1st-4th：オージオメータ AA-73A（リオン株式会社）
	250Hz	×	○	○	○	○	○	○	5th-7th：オージオメータ AA-78（リオン株式会社）
	500Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	1000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	2000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	3000Hz	×	×	×	×	×	○	○	
	4000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	6000Hz	×	×	×	×	×	○	○	
	8000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
右骨導	250Hz	×	○	○	○	○	○	○	
	500Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	1000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	2000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	4000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
左気導	125Hz	×	○	○	○	○	○	○	
	250Hz	×	○	○	○	○	○	○	
	500Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	1000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	2000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	3000Hz	×	×	×	×	×	○	○	
	4000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	6000Hz	×	×	×	×	×	○	○	
	8000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
左骨導	250Hz	×	○	○	○	○	○	○	
	500Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	1000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	2000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
	4000Hz	○	○	○	○	○	○	○	
2. インピーダンスオージオメトリー									
ティンパノグラムの振幅ピーク時の外耳道圧	右	○	○	○	○	○	○	○	1st-7th（2011.11まで）：中耳アナライザー GSI-33 ver.2（Grason-Stadler,Inc.，永島医療機器株式会社）
	左	○	○	○	○	○	○	○	7th（2011.12-）：GSIティンプスター ver.2（Grason-Stadler,Inc.，永島医療機器株式会社）
静的コンプライアンス	右	○	○	○	○	○	○	○	
	左	○	○	○	○	○	○	○	
中耳共振周波数	右	○	○	○	○	○	○	○	
	左	○	○	○	○	○	○	○	
3. 鼓膜ビデオ撮影；オトスコープ									
鼓膜所見	右	×	△	○	○	○	○	○	外耳道・鼓膜用CCDカメラ MP-5→DPM-6→Me-16(RF SYSTEM lab.)
	左	×	△	○	○	○	○	○	2ndデータは1800名分程度：2nd途中（2000.10）から開始.

注1)
△はデータに大幅な欠損あり.

視覚検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 屈折								
右眼屈折球面等価値 (Diopter)	○	○	○	○	○	○	○	オートレフケラトメーター ARK-700A (株式会社ニデック)
左眼屈折球面等価値 (Diopter)	○	○	○	○	○	○	○	
2. 視力 (5メートル)								
遠見常用視力 (右眼)	○	○	○	○	○	○	○	電光投影式 試視力表照明装置 5m用 日医-12254 (株式会社日本医療器研究所)
遠見常用視力 (左眼)	○	○	○	○	○	○	○	
遠見矯正視力 (右眼)	○	○	○	○	○	○	○	
遠見矯正視力 (左眼)	○	○	○	○	○	○	○	
3. 近見視力 (33センチメートル)								
近見常用視力 (右眼)	○	×	○	×	×	×	○	新標準近距離視力表 (株式会社半田屋商店)
近見常用視力 (左眼)	○	×	○	×	×	×	○	
4. コントラスト感度								
コントラスト感度 1.5 (C/D)	○	○	○	○	○	△	○	ビジョンコントラストテスター VCTS 6500 (Vistech Consultants,Inc., 株式会社松本医科器械)
コントラスト感度 3 (C/D)	○	○	○	○	○	△	○	6thデータは900名分程度：6th途中 (2009.5) から中止.
コントラスト感度 6 (C/D)	○	○	○	○	○	△	○	
コントラスト感度 12 (C/D)	○	○	○	○	○	△	○	
コントラスト感度 18 (C/D)	○	○	○	○	○	△	○	
5. 眼圧								
右眼眼圧 (mmHg)	○	○	○	○	○	○	○	ノンコンタクトトノメーター NT-3000 (株式会社ニデック)
左眼眼圧 (mmHg)	○	○	○	○	○	○	○	
6. 眼底撮影								
右網膜動脈硬化 (Keith-Wagener)	○	○	○	○	○	○	○	1st-3rd：無散瞳眼底カメラ TRC-NW5S (株式会社トプコン)
左網膜動脈硬化 (Keith-Wagener)	○	○	○	○	○	○	○	4th-7th：無散瞳眼底カメラ TRC-NW6S (株式会社トプコン)
右眼視神経陥凹 (比率)	○	○	○	○	○	○	×	
左眼視神経陥凹 (比率)	○	○	○	○	○	○	×	
右糖尿病網膜症	○	○	○	○	○	○	×	
左糖尿病網膜症	○	○	○	○	○	○	×	
右黄斑変性	○	○	○	○	○	○	×	
左黄斑変性	○	○	○	○	○	○	×	
7. スペキュラー								
右角膜厚 (㎜)	○	○	○	○	○	△	×	スペキュラー マイクロスコープ SP-2000 (株式会社トプコン)
左角膜厚 (㎜)	○	○	○	○	○	△	×	5th角膜細胞密度データは800名分程度：5th途中 (2007.8.1) から開始.
右角膜細胞密度 (/mm^2)	○	○	×	×	△	×	×	6th角膜厚データは900名分程度：6th途中 (2009.5) から中止.
左角膜細胞密度 (/mm^2)	○	○	×	×	△	×	×	
8. 水晶体混濁度検査								
右眼水晶体前嚢下混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	前眼部撮影・解析装置 EAS-1000 バージョン3.05 (株式会社ニデック)
左眼水晶体前嚢下混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
右眼水晶体核混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
左眼水晶体核混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
右眼水晶体前嚢皮質混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
左眼水晶体前嚢皮質混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
右眼水晶体核前部混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
左眼水晶体核前部混濁 (散乱強度)	○	○	×	×	×	×	×	
9. 視野								
右眼視野中央閾値 (dB)	○	×	×	×	×	×	×	OCTOPUS 1-2-3 (スイス Interzeag AG , 株式会社松本医科器械)
左眼視野中央閾値 (dB)	○	×	×	×	×	×	×	
右眼視野平均感度 (dB)	○	×	×	×	×	×	×	
左眼視野平均感度 (dB)	○	×	×	×	×	×	×	
右眼の視野	○	×	×	×	×	×	×	
左眼の視野	○	×	×	×	×	×	×	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
10. 色覚								
青黄識別試験における正答率（%）	○	×	×	×	×	×	×	標準色覚検査表（SPP）第2部（株式会社 医学書院）
赤緑識別試験における正答率（%）	○	×	×	×	×	×	×	
11. 動体視力								
静止視力	○	×	×	×	×	×	×	コーワ AS4-C（榎本工業株式会社，興和株式會社）
動体視力	○	×	×	×	×	×	×	
12. 立体視力								
立体視力（チトマスステレオテスト）	○	×	○	×	×	×	×	チトマス立体視検査表（STEREO OPTICAL CO.,INC.，ジャパン フォーカス株式会社）
立体視力（TNOステレオテスト）	○	×	×	×	×	×	×	TNO立体視検査表（Clement Clarke International Ltd.（A HAAG-STREIT Co.），ジャパン フォーカス株式会社）
13.視神経乳頭								
Cup/disk area ratio（右眼）	×	×	○	×	×	×	×	Heidelberg Retina Tomograph Ⅱ（Heidelberg Engineering，Inc.）
Cup/disk area ratio（左眼）	×	×	○	×	×	×	×	
Mean cup depth（右眼）（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
Mean cup depth（左眼）（mm）	×	×	○	×	×	×	×	

注1）
1stは，各検査の開始時期が若干異なる．
注2)
△はデータに大幅な欠損あり．

生理機能検査(2020.9.2版)

変数		1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 心血管系									
1) 血圧と脈拍数									
収縮期血圧 (mmHg)		○	○	○	○	○	○	○	自動血圧計 BP-203RVⅡ (日本コーリン株式会社)
拡張期血圧 (mmHg)		○	○	○	○	○	○	○	
脈拍数 (/min)		○	○	○	○	○	○	○	
2) 指尖容積脈波と脈波伝播速度(PWV)と足関節/上腕血圧指数 (ABI)									
SX (mm)		○	○	×	×	×	×	×	オシロレコーダ オムニエース RT3300 (NEC三栄株式会社)
SS (mm)		○	○	×	×	×	×	×	**<参考>**
補正後のアップストローク時間 (秒)		○	○	×	×	×	×	×	Shimokata, H., Shibata, K., Kuzuya, F. (1986). The digital plethysmogram as an index of ageing grade. Age and Ageing, 15(6), 369-373.
脈波伝播速度 (cm/sec)	右	×	×	×	×	○	○	○	血圧脈波検査装置　form PWV/ABI BP-203RPEⅡ (コーリンメディカルテクノロジー株式会社)
	左	×	×	×	×	○	○	○	
足関節/上腕血圧指数	右	×	×	×	×	○	○	○	
	左	×	×	×	×	○	○	○	
動脈硬化度自動診断結果		×	×	×	×	○	○	○	
3) 心電図									
心拍数 (/min)		○	○	○	○	○	○	○	1st-7th (2011.5.13まで) : 解析機能付き心電計 Kartizer5562 (日本電気株式会社)
PR間隔 (msec)		○	○	○	○	○	○	○	7th (2011.5.17-) : 解析機能付き心電計 Kartizer5571 (日本電気株式会社)
QRS幅 (msec)		○	○	○	○	○	○	○	
QT間隔 (msec)		○	○	○	○	○	○	○	
QTc間隔 (msec)		○	○	○	○	○	○	○	
S (V1) 高 (mV)		○	○	○	○	○	○	○	
R (V5) 高 (mV)		○	○	○	○	○	○	○	
QRS軸 (度)		○	○	○	○	○	○	○	
P軸 (度)		○	○	○	○	○	○	○	
T軸 (度)		○	○	○	○	○	○	○	
R-R間隔変動係数		×	○	○	○	×	×	×	
ミネソタコード		○	○	○	○	○	○	○	
4) 心臓超音波検査									
拡張期大動脈径 (AOD) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	1st-4th : 超音波診断装置 EUB-655 (株式会社日立メディコ)
左房内径 (LAD) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	5th-7th : 超音波診断装置 EUB-5500 (株式会社日立メディコ)
LAD/AOD比		○	○	○	○	○	△	×	6thデータは1000名分程度. 6th途中 (2009.6) から中止.
E波振幅 (E-Amp) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
A波振幅 (A-Amp) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
TV後退速度 (DDR) (mm/s)		○	○	○	○	○	△	×	
A波/E波比		○	○	○	○	○	△	×	
左室拡張末期径 (LVEdD) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
左室収縮末期径 (LVEsD) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
左室後壁拡張末期厚 (LVPWd) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
左室後壁収縮末期厚 (LVPWs) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
心室中隔拡張期厚 (IVSd) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
心室中隔収縮期厚 (IVSs) (mm)		○	○	○	○	○	△	×	
左室拡張末期容量 (LVEdV) (mL)		○	○	○	○	○	△	×	
左室収縮末期容量 (LVEsV) (mL)		○	○	○	○	○	△	×	
1回拍出量 (SV) (mL)		○	○	○	○	○	△	×	
心拍出量 (CO) (L/min)		○	○	○	○	○	△	×	
駆出率 (EF) (%)		○	○	○	○	○	△	×	
左室内径短縮率 (FS) (%)		○	○	○	○	○	△	×	
心拍数 (HR) (/min)		○	○	○	○	○	△	×	

変数		1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
5) 総頸動脈内膜中膜厚									
左総頸動脈肥厚部内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	1st-4th：超音波診断装置 EUB-655 (株式会社日立メディコ)
左総頸動脈最小内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	5th-7th：超音波診断装置 EUB-5500 (株式会社日立メディコ)
左総頸動脈分岐部肥厚部内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	6thデータは1000名分程度：6th途中 (2009.6) から中止.
左総頸動脈分岐部最小内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	
右総頸動脈肥厚部内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	
右総頸動脈最小内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	
右総頸動脈分岐部肥厚部内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	
右総頸動脈分岐部最小内膜中膜厚 (mm)		○	○	○	○	○	△	○	
2. 呼吸器系									
1) 肺機能									
肺活量 (VC)		○	○	×	×	×	×	×	電子スパイロメータ CHESTGRAPH HI-701 (チェスト株式会社)
最大吸気量 (IC)		○	○	×	×	×	×	×	
一回換気量 (TV)		○	○	×	×	×	×	×	
予備呼気量 (ERV)		○	○	×	×	×	×	×	
予備吸気量 (IRV)		○	○	×	×	×	×	×	
努力性肺活量 (FVC)		○	○	×	×	×	×	×	
1秒量 (FEV1.0)		○	○	×	×	×	×	×	
1秒率 (Gaensler) (FEV1.0%G)		○	○	×	×	×	×	×	
1秒率 (Tiffeneau) (FEV1.0%T)		○	○	×	×	×	×	×	
最大中間呼気流量 (MMF)		○	○	×	×	×	×	×	
ピークフロー (PEF)		○	○	×	×	×	×	×	
V75 (L/s)		○	○	×	×	×	×	×	
V50 (L/s)		○	○	×	×	×	×	×	
V25 (L/s)		○	○	×	×	×	×	×	
ピークフロー時間 (秒)/PEF TIME		○	○	×	×	×	×	×	
Extrap V		○	○	×	×	×	×	×	
2) 血液酸素飽和度									
酸素飽和度 (%O^2)		○	○	×	×	×	×	×	パルスオキシメータ OLV-1200 (日本光電株式会社)
3. 皮膚感覚システム									
電流知覚閾値 (mA)	2000Hz	○	×	×	×	×	×	×	末梢神経検査装置 Neurometer CPT/C (東洋メディック株式会社)
	250Hz	○	×	×	×	×	×	×	
	5Hz	○	×	×	×	×	×	×	
2点識別覚 (mm)		○	×	×	×	×	×	×	知覚針 (ユフ精器株式会社)

注1)
△はデータに大幅な欠損あり.

運動機能・身体活動量検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 体力測定								
長座位前屈（体前屈）(cm)	○	○	○	○	○	○	○	体前屈測定器 T.K.K.4038a（竹井機器工業株式會社）
右握力 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	握力測定器 T.K.K.4301a（竹井機器工業株式會社）
左握力 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
閉眼片足立ち（秒）	○	○	○	○	○	○	○	閉眼・開眼片足立ち測定器 T.K.K.4315a（竹井機器工業株式會社）
開眼片足立ち（秒）65 歳以上	×	×	○	○	○	○	○	
全身反応時間（秒）	○	○	○	○	○	○	○	全身反応測定器 T.K.K.4312a（竹井機器工業株式會社）
脚伸展パワー (W)	○	○	○	○	○	○	○	レッグパワー測定器 T.K.K.1865（竹井機器工業株式會社）
上体起こし（回）	○	○	○	○	○	○	○	上体おこし測定器 T.K.K.4329a（竹井機器工業株式會社）
右膝伸展筋力（脚筋力）(kg)	△	○	○	○	○	○	○	脚筋力測定器 機器改変のため型番なし（竹井機器工業株式會社）
左膝伸展筋力（脚筋力）(kg)	△	○	○	○	○	○	○	1st右左膝伸展筋力（脚筋力）データ は1500名分程度：1st途中（1998.9.9）から開始
最大歩幅 (cm)	×	○	○	○	○	×	×	
2. 歩行測定								
通常歩行								歩行測定器 YW-3（株式会社ヤガミ）
歩幅 (cm)	○	○	○	○	○	○	○	
歩調 (歩/分)	○	○	○	○	○	○	○	
速度 (m/分)	○	○	○	○	○	○	○	
速歩行								
歩幅 (cm)	○	○	○	○	○	○	○	
歩調 (歩/分)	○	○	○	○	○	○	○	
速度 (m/分)	○	○	○	○	○	○	○	
3. 3次元歩行解析：通常歩行								
平均速度 (m/s)（右足支持期）	×	○	○	○	○	○	△	1st-3rd：Oxford Metrics Vicon140（株式会社NAC）
平均速度 (m/s)（右足遊脚期）	×	○	○	○	○	○	△	4th-7th：Oxford Metrics Vicon370（株式会社NAC）
平均速度 (m/s)（右足1サイクル）	×	○	○	○	○	○	△	多成分フォースプレート KISTLER 9286（日本キスラー株式会社）
歩調 (Hz)	×	○	○	○	○	○	△	8チャンネルチャージアンプ KISTLER 9865C（日本キスラー株式会社）
歩幅 (m)	×	○	○	○	○	○	△	1stデータは不備があるため参考値.
支持時間 (sec)	×	○	○	○	○	○	△	7thデータは1800名分程度:7th途中(2012.3)から中止.
遊脚時間 (sec)	×	○	○	○	○	○	△	
両脚支持時間 (sec)	×	○	○	○	○	○	△	
1サイクル時間 (sec)	×	○	○	○	○	○	△	
支持時間 (% of 1 cycle)	×	○	○	○	○	○	△	
遊脚時間 (% of 1 cycle)	×	○	○	○	○	○	△	
両脚支持時間 (% of 1 cycle)	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足支持期，股関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足遊脚期，股関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足1サイクル，股関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足支持期，膝関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足遊脚期，膝関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足1サイクル，膝関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足支持期，足関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足遊脚期，足関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域 (deg)（右足1サイクル，足関節）	×	○	○	○	○	○	△	
トルク (Nm)（右足支持期，足関節底屈ピーク）	×	○	○	○	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）変位 (m)	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）変位の最大値（右方向へsway）(m)	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）変位の最小値（左方向へsway）(m)	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル)の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）変位 (m)	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）変位の最大値（右方向へsway）(m)	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）変位の最小値（左方向へsway）(m)	×	×	×	×	○	○	△	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
体幹質量中心推進方向（右足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心推進方向（左足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（右足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（右足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（左足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（左足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
4. 3次元歩行解析：速歩行								
平均速度（m/s）（右足支持期）	×	○	○	○	○	○	△	1st-3rd：Oxford Metrics Vicon140（株式会社NAC）
平均速度（m/s）（右足遊脚期）	×	○	○	○	○	○	△	4th-7th：Oxford Metrics Vicon370（株式会社NAC）
平均速度（m/s）（右足1サイクル）	×	○	○	○	○	○	△	多成分フォースプレート KISTLER 9286（日本キスラー株式会社）
歩調（Hz）	×	○	○	○	○	○	△	8チャンネルチャージアンプ KISTLER 9865C（日本キスラー株式会社）
歩幅（m）	×	○	○	○	○	○	△	1stデータは不備があるため参考値.
支持時間（sec）	×	○	○	○	○	○	△	7thデータは1800名分程度:7th途中(2012.3)から中止.
遊脚時間（sec）	×	○	○	○	○	○	△	
両脚支持時間（sec）	×	○	○	○	○	○	△	
1サイクル時間（sec）	×	○	○	○	○	○	△	
支持時間 （% of 1 cycle）	×	○	○	○	○	○	△	
遊脚時間 （% of 1 cycle）	×	○	○	○	○	○	△	
両脚支持時間 （% of 1 cycle）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足支持期，股関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足遊脚期，股関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足1サイクル，股関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足支持期，膝関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足遊脚期，膝関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足1サイクル，膝関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足支持期，足関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足遊脚期，足関節）	×	○	○	○	○	○	△	
関節可動域（deg）（右足1サイクル，足関節）	×	○	○	○	○	○	△	
トルク（Nm）（右足支持期，足関節底屈ピーク）	×	○	○	○	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）変位の最大値（右方向へsway）（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（右足1サイクル）変位の最小値（左方向へsway）（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）変位の最大値（右方向へsway）（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心sway（左足1サイクル）変位の最小値（左方向へsway）（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心推進方向（右足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心推進方向（左足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（右足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（右足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（左足1サイクル）の残差の標準偏差	×	×	×	×	○	○	△	
体幹質量中心上下動（左足1サイクル）変位（m）	×	×	×	×	○	○	△	
5. 重心動揺測定								
開眼時両足立位　重心動揺								1st-3rd：重心動揺計 EB1101（NEC）
開眼外周面積（cm^2）	×	○	○	○	○	○	○	4th-7th：重心動揺計 FGX-07（第一医科株式会社）
開眼トータルパワーX（cm^2）	×	○	○	○	○	○	○	1stデータは不備があるため参考値.
開眼トータルパワーY（cm^2）	×	○	○	○	○	○	○	
開眼中心X（cm）	×	○	○	○	○	○	○	
開眼中心Y（cm）	×	○	○	○	○	○	○	
開眼前後径（cm）	×	○	○	○	○	○	○	
開眼左右径（cm）	×	○	○	○	○	○	○	
開眼軌跡長（cm）	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼時両足立位　重心動揺								

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
閉眼外周面積 (cm^2)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼トータルパワーX (cm^2)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼トータルパワーY (cm^2)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼中心X (cm)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼中心Y (cm)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼前後径 (cm)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼左右径 (cm)	×	○	○	○	○	○	○	
閉眼軌跡長 (cm)	×	○	○	○	○	○	○	
6. 日常歩行量測定								
総エネルギー消費量 (kcal)	△	○	○	○	○	○	○	1st (1998.5.19) -4th：生活習慣記録機 Lifecorder 5th-6th：生活習慣記録機 Lifecorder, 生活習慣記録機 LifecorderEX 7th：生活習慣記録機 LifecorderEX（いずれも株式会社スズケン） 1stデータは800名分程度：1st途中 (1998.5.19) から開始.
運動量 (kcal)	△	○	○	○	○	○	○	
歩数 (歩)	△	○	○	○	○	○	○	
7. 身体活動量調査 ＜対面聞き取り方式＞								
余暇身体活動運動強度別頻度 2.5METs	○	○	○	○	○	○	○	**＜出典＞** 身体活動量アンケート（田中ら作成）：Iwai, N., Yoshiike, N, Saitoh S., Nose, T., Kushiro, T., Tanaka, H. (2000). Leisure-time physical activity and related lifestyle characteristics among middle-aged Japanese. Japan Lifestyle Monitoring Study Group. J Epidemiol 10, 226-233.
余暇身体活動運動強度別頻度 4.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
余暇身体活動運動強度別頻度 6.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
余暇身体活動運動強度別頻度 8.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
運動強度別余暇身体活動量 (2.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
運動強度別余暇身体活動量 (4.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
運動強度別余暇身体活動量 (6.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
運動強度別余暇身体活動量 (8.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
余暇身体活動量 (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
余暇身体活動時間 (時間/年)	○	○	○	○	○	○	○	
余暇身体活動量 (METs*分/1000/日)	○	○	○	○	○	○	○	
余暇身体活動時間 (時間/日)	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動強度別頻度 1.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動強度別頻度 2.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動強度別頻度 4.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動強度別頻度 7.5METs	○	○	○	○	○	○	○	
強度別仕事身体活動量 (1.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
強度別仕事身体活動量 (2.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
強度別仕事身体活動量 (4.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
強度別仕事身体活動量 (7.5METs) (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動量 (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動時間 (時間/年)	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動量 (METs*分/1000/日)	○	○	○	○	○	○	○	
仕事身体活動時間 (時間/日)	○	○	○	○	○	○	○	
残余身体活動量 (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
残余身体活動時間 (時間/日)	○	○	○	○	○	○	○	
睡眠時間 (時間/日)	○（背）	○（背）	○（背）	○	○	○	○	背景因子調査においては自記式質問紙にて睡眠時間を質問.
睡眠時身体活動量 (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
総身体活動量 (METs*分/1000/年)	○	○	○	○	○	○	○	
総身体活動量 (METs*分/1000/日)	○	○	○	○	○	○	○	
総身体活動強度 (METs/年)	○	○	○	○	○	○	○	
睡眠時を除く身体活動強度 (METs/年)	○	○	○	○	○	○	○	

注1)
「(背)」は「背景因子調査」のデータカタログ参照.
注2)
△はデータに大幅な欠損あり.

身体計測・身体組成検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 形態計測								
身長（cm）	○	○	○	○	○	○	○	1st-5th(-2008.3)：身長・体重測定器 T.K.K.4342a（竹井機器工業株式會社） 5th-7th(2008.3-2012.7)：収納式自動身長計付き体重計 WB-510（株式会社タニタ）
体重（kg）	○	○	○	○	○	○	○	風袋量を引いた体重（原則空腹時の体重）. 1st-2nd：BOD POD 体脂肪測定装置 MAB-1000（Life Measurement Instruments） 3rd-5th(2002.5-2008.3)：身長・体重測定器 T.K.K.4342a（竹井機器工業株式會社） 5th-7th(2008.3-2012.7)：収納式自動身長計付き体重計 WB-510（株式会社タニタ）
体格指数：BMI（kg/m^2）	○	○	○	○	○	○	○	
転子高（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
腸骨稜高（cm）	○	○	○	×	×	×	×	
胴囲（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
臍位腹囲（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
臀囲（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
大腿囲（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
膝上10cm大腿囲（cm）	○	○	○	×	×	×	×	
膝上5cm大腿囲（cm）	○	×	×	×	×	×	×	
下腿囲（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
上腕囲（cm）	○	○	○	○	○	○	○	
矢状面直径（cm）	○	○	○	×	×	×	×	
臍位腹囲臀囲比：WHR	○	×	×	×	×	×	×	
2. 皮下脂肪厚，筋組織厚								
腹部皮下脂肪厚（mm）	○	○	○	○	○	○	○	1st-4th：電子走査形超音波断層装置 ECHOPAL EUB-405（株式会社日立メディコ）
腹部筋厚（mm）	○	○	○	○	○	○	○	5th-7th：電子走査形超音波断層装置 ECHOPAL EUB-655（株式会社日立メディコ）
みぞおち皮下脂肪厚（mm）	○	○	×	×	×	×	×	
みぞおち内臓脂肪厚（mm）	○	○	×	×	×	×	×	
大腿中央皮下脂肪厚（mm）	○	○	○	○	○	○	○	
大腿中央筋厚（mm）	○	○	○	○	○	○	○	
下腿前面皮下脂肪厚（mm）	×	×	○	○	○	○	○	
下腿前面筋厚（mm）	×	×	○	○	○	○	○	
膝上10cm皮脂厚（mm）	△	○	×	×	×	×	×	1st膝上皮脂厚・筋厚データは1800名分程度：1st途中（1998.7.28）から開始.
膝上10cm筋厚（mm）	△	○	×	×	×	×	×	
膝上5cm皮脂厚（mm）	△	×	×	×	×	×	×	
膝上5cm筋厚（mm）	△	×	×	×	×	×	×	
上腕背部皮下脂肪厚（mm）	○	○	○	○	○	○	○	
上腕背部筋厚（mm）	○	○	○	○	○	○	○	
肩甲骨下部皮下脂肪厚（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
肩甲骨下部筋厚（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
大腿中央後面皮下脂肪厚（mm）	×	×	○	○	○	○	○	
ふくらはぎ皮下脂肪厚（mm）	×	×	○	○	○	○	○	
ふくらはぎ筋厚（mm）	×	×	○	○	○	○	○	
上腕前面皮下脂肪厚（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
上腕前面筋厚（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
前腕前面皮下脂肪厚（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
前腕前面筋厚（mm）	×	×	○	×	×	×	×	
3. 内臓脂肪面積，皮下脂肪面積								
CTによる腹腔内脂肪面積（cm^2）	×	○	○	○	○	○	○	SCT-6800TX（株式会社 島津製作所），Fat Scan（N2 システム株式会社）
CTによる皮下脂肪面積（cm^2）	×	○	○	○	○	○	○	
CTでの臍囲（cm）	×	○	○	○	○	○	○	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
4. 身体組成								
1) BODPODによる身体組成								
BODPODによる体脂肪率 (%)	○	○	○	×	×	×	×	BOD POD 体脂肪測定装置 MAB-1000 (Life Measurement Instruments)
BODPODによる体密度 (kg/m^3)	○	○	○	×	×	×	×	
BODPODによる体積 (L)	×	○	○	×	×	×	×	
2) DXAによる身体組成								
頭部脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	二重X線吸収装置 (DXA) QDR-4500 (Hologic, 東洋メディック株式会社)
頭部除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左上肢脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左上肢除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右上肢脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右上肢除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
体幹脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
体幹除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左下肢脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
左下肢除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右下肢脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
右下肢除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
総脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
除脂肪量 (kg)	○	○	○	○	○	○	○	
体脂肪率 (%)	○	○	○	○	○	○	○	
3) 多周波インピーダンス法による身体組成								
体組成計 (タニタ) によるインピーダンス値 (ohms)	○	×	×	×	×	×	×	体内脂肪計 TBF-102 (株式会社タニタ)
体組成計 (タニタ) による体脂肪率 (%)	○	×	×	×	×	×	×	
体組成計 (タニタ) による体内総水分量 (L)	○	×	×	×	×	×	×	
体組成計 (XITRON) による体内総水分量 (L)	○	○	○	×	×	×	×	バイオインピーダンス測定装置 4000C (XITRON, 日本光電工業株式会社)
体組成計 (XITRON) による細胞外液量 (L)	○	○	○	×	×	×	×	
体組成計 (XITRON) による細胞内液量 (L)	○	○	○	×	×	×	×	
体組成計 (積水化学) による体脂肪率 (%)	○	×	×	×	×	×	×	多周波数法式体脂肪計 MLT-100 (積水化学工業株式会社)
体組成計 (積水化学) による体内総水分量 (L)	○	×	×	×	×	×	×	
体組成計 (積水化学) による細胞外液量 (L)	○	×	×	×	×	×	×	
体組成計 (積水化学) による細胞内液量 (L)	○	×	×	×	×	×	×	
5. 安静時代謝量								
安静時代謝量 (kcal/24h)	×	○	○	×	×	×	×	呼吸代謝測定装置 Vmax (SENSOR MEDICS)
酸素摂取量 (L/min)	×	○	○	×	×	×	×	
二酸化炭素排出量 (L/min)	×	○	○	×	×	×	×	
呼吸交換比	×	○	○	×	×	×	×	

注1)
△はデータに大幅な欠損あり.

注2)
体重測定時の風袋量は,
長袖Tシャツのとき：ジャージ上下を着ている場合－1.1kg, ジャージ下だけ履いている場合－0.8kg, ジャージ上下を着ていない場合－0.4kg.
半袖Tシャツのとき：ジャージ上下を着ている場合－1.0kg, ジャージ下だけ履いている場合－0.7kg, ジャージ上下を着ていない場合－0.3kg.

頭部MRI検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 脳室周囲高信号域 (PVH)								
脳室周囲高信号域 (PVH)	○	○	○	○	○	○	○	
2. 脳室拡大								
脳室拡大	○	○	○	○	○	○	○	
側脳室前角拡大	○	○	○	○	○	○	○	
側脳室後角拡大	○	○	○	○	○	○	○	
3. 脳萎縮								
脳萎縮	○	○	○	○	○	○	○	
前頭葉萎縮	○	○	○	○	○	○	○	
側頭葉萎縮	○	○	○	○	○	○	○	
4. 脳血管障害								
脳血管障害	○	○	○	○	○	○	○	
脳梗塞	○	○	○	○	○	○	○	
ラクナ梗塞	○	○	○	○	○	○	○	
脳血栓	○	○	○	○	○	○	○	
脳塞栓	○	○	○	○	○	○	○	
脳出血	○	○	○	○	○	○	○	
5. 頭部MRI計測								
脳実質総面積 (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	画像解析ソフトNIHimage V1.61使用
脳実質容積 (cm^3)	△	×	×	×	×	×	×	1stデータは約600名分程度：1st途中 (1998.10.1) から中止.
小脳虫部面積 (矢状断) (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
橋面積 (矢状断) (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
脳梁面積 (矢状断) (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
頭蓋骨断面積 (矢状断) (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
側脳室断面積 (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
脳実質断面積 (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
くも膜下脳脊髄液面積 (前方) (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	
くも膜下脳脊髄液面積 (側方) (cm^2)	△	×	×	×	×	×	×	

注1)
1st-5th (2008.2.1)：MRI 1.5テスラ (東芝メディカルシステムズ株式会社)
5th (2008.2.5-2008.3.28)：MRI 1.5テスラ (シーメンスヘルスケア株式会社)
5th (2008.4.1)-7th：MRI 3テスラ (シーメンスヘルスケア株式会社)
注2)
いずれもT1/T2強調画像により判定.
注3)
△はデータに大幅な欠損あり.

口腔検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 保有歯の状態								
健全歯の数	×	×	○	△	×	×	×	
充填歯の数	×	×	○	△	×	×	×	
虫歯要観察歯の数	×	×	○	△	×	×	×	
虫歯の数	×	×	○	△	×	×	×	
喪失歯の数	×	×	○	△	×	×	×	
その他	×	×	○	△	×	×	×	
2. 歯肉の状態								
歯肉の状態	×	×	○	△	×	×	×	CPI部分検査法 (WHO基準) **＜参考＞** Ainamo, J., Barmes, D., Beagrie, G., Cutress, T., Martin, J., Sardo-Infirri, J. (1982). Development of the World Health Organization (WHO) community periodontal index of treatment needs (CPITN). Int Dent J. Sep; 32(3), 91-281.
3. 義歯の取り扱い								
義歯の使用習慣	×	×	○	△	×	×	×	
4. 舌苔の量								
舌苔の量	×	×	○	△	×	×	×	**＜参考＞** Miyazaki, H., Sakao, S., Katoh, Y., Takehara, T. (1995). Correlation between volatile sulphur compounds and certain oral health measurements in the general population. J Periodontol. Aug; 66(8), 84-679.
5. 舌の乾燥度								
舌の乾燥度 (mm)	×	×	×	△	×	×	×	唾液浸潤度検査紙エルサリボ (公益財団法人ライオン歯科衛生研究所)
6. 咬合の状態								
咬合面積 (mm^2)	×	×	×	△	×	×	×	オクルーザー 咬合力測定システム FPD-707 (株式会社ジーシー)
咬合最大圧 (MPa)	×	×	×	△	×	×	×	
咬合力 (N)	×	×	×	△	×	×	×	

注1)
4thデータは900名分程度：4th途中 (2005.4) から中止.
注2)
△はデータに大幅な欠損あり.

遺伝子検査(2020.9.2版)

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
1. 遺伝子								
aldehyde dehydrogenase 2 (ALDH2) E/K	○	×	×	×	×	×	×	
amylin S20D	○	×	×	×	×	×	×	
angiotensin converting enzyme (ACE) I/D	○	×	×	×	×	×	×	
angiotensinogen C235T	○	×	×	×	×	×	×	
angiotensin II type I receptor A1166C	○	×	×	×	×	×	×	
angiotensin II type I recepter G-2228A	○	×	×	×	×	×	×	
angiotensin II type I recepter C-1424G	○	×	×	×	×	×	×	
apolipoprotein E A-491T	○	△	△	△	△	△	△	2nd-7thデータは約130～380名分程度：各Wave初回参加者のみ検査.
beta2-adrenerginc receptor (ADRB2) Gln27Glu	○	×	×	×	×	×	×	
calcitonin receptor C1377T	○	×	×	×	×	×	×	
chemokine receptor 2 (CCR2) G190A (Val64Ile)	○	×	×	×	×	×	×	
cholesterol ester transfer protein (CETP) A1324G (Asp442Gly)	○	×	×	×	×	×	×	
coagulation factor XIII (FXIII) Val34Leu	○	×	×	×	×	×	×	
calpain 10 G43A	○	×	×	×	×	×	×	
catechol-o-methyltransferase (COMT) GA (Val158Met)	○	×	×	×	×	×	×	
CYP2D6-3 1base-ID (CYP2D6B)	○	×	×	×	×	×	×	
dopamine transporter (DAT) A1215G	○	×	×	×	×	×	×	
dihydrolipoamide succinyltransferase (DLST) 19117 in intron 13 (A or G)	○	×	×	×	×	×	×	
dihydrolipoamide succinyltransferase (DLST) 19183 in intron 14 (T or C)	○	×	×	×	×	×	×	
dopamine receptor D2 CG(Ser311Cys)	○	×	×	×	×	×	×	
estrogen receptor alpha (ESRRA) PP/pp	○	×	×	×	×	×	×	
estrogen Receptor alpha (ESRRA) XX/xx	○	×	×	×	×	×	×	
fibrinogen beta-polypeptide chain (FGB) G-455A	○	×	×	×	×	×	×	
guanine nucleotide binding protein beta-3 (GNB3) C825T	○	×	×	×	×	×	×	
glycogen synthetase M416V	○	×	×	×	×	×	×	
interleukin 10 (IL10) A-592C	○	×	×	×	×	×	×	
interleukin 1 alpha (IL1A) C-889T	○	×	×	×	×	×	×	
interleukin-1β (IL1B) (C-511T)	○	×	×	×	×	×	×	
interleukin 6 (IL6) G-634C	○	×	×	×	×	×	×	
monoamine oxidase B (MAOB) GA (intron13/exon14)	○	×	×	×	×	×	×	
malanocortin-4 receptor (MC-4) AG (Ile103Val)	○	×	×	×	×	×	×	
matrix-degrading metalloproteinase 1 (MMP-1) (1G/2G at-1607)	○	×	×	×	×	×	×	
mitochondria 15524 (A/G)	○	×	×	×	×	×	×	
mitochondria 15497 (G/A)	○	×	×	×	×	×	×	
mitochondria 5178 (C/A)	○	×	×	×	×	×	×	
synthetic construct methylenetetrahydorofolate reductase (MTHFR) (C677T)	○	×	×	×	×	×	×	
NADH/NADPHxp22phox (242C/T(His/Try))	○	×	×	×	×	×	×	
nitric oxide synthase 3 (eNOS) G894T (Glu298Asp)	○	×	×	×	×	×	×	
nitric oxide synthase 3 (eNOS) I/D	○	×	×	×	×	×	×	
ostecalcin C298T	○	×	×	×	×	×	×	
platelet-activating factor acethylhydrase (PAF-AH) G994T	○	×	×	×	×	×	×	
paraoxonase (PON1) 192 Gln/Arg	○	×	×	×	×	×	×	
paraoxonase (PON1) 55 Leu/Met	○	×	×	×	×	×	×	
paraoxonase (PON2) 311 Cys/Ser	○	×	×	×	×	×	×	
24kDa protein of complex I CT (Ala29Val)	○	×	×	×	×	×	×	
manganese superokide dismutase (SOD2) C47T	○	×	×	×	×	×	×	
transferin C1/C2 (Pro570Ser)	○	×	×	×	×	×	×	
transforming groth factor-beta 1 (TGF-b) T-29C	○	×	×	×	×	×	×	
transforming groth factor-beta 1 (TGF-b) C-509T	○	×	×	×	×	×	×	
tumor necrosis factor-alpha (TNFA) C-863A	○	×	×	×	×	×	×	
translocase of the outer mitochondrial membrane 40 (TOM40) T988C	○	×	×	×	×	×	×	

変数	1st Wave	2nd Wave	3rd Wave	4th Wave	5th Wave	6th Wave	7th Wave	備考
uncoupling protein 1 (UCP1) A-3826G	○	×	×	×	×	×	×	
vascular endothelial growth factor (VEGF) C936T	○	×	×	×	×	×	×	
vascular endothelial growth factor (VEGF) G405C	○	×	×	×	×	×	×	
Illumina HumanExome BeadChip (244,770 SNP)	△	○	△	×	×	×	×	2013-2014年度測定. 1st△：2nd不参加者のみ, 3rd△：1st-2nd不参加者のみ.

遺伝子のデータは全て，検体番号で管理しており，他のNILS-LSAデータ（ID番号で管理）とデータ管理方法が異なります.

国立長寿医療研究センター・老化に関する長期縦断疫学研究（NILS-LSA）データカタログ

発行）　2020年9月2日　Ver.1.0

著者）　国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター

担当部署）

国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター

老年学・社会科学研究センター

NILS-LSA事務局

〒474-8511　愛知県大府市森岡町7丁目430番地

Tel ： 0562-46-2311 内線5462

※当カタログ内のデータ・文章等の内容の無断転載及び複製等の行為を固く禁じます。